科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 2 6 日現在

機関番号: 12501

研究種目: 挑戦的研究(萌芽)

研究期間: 2019~2022

課題番号: 19K22950

研究課題名(和文)新型聴覚デバイスの開発を目指した遠位呈示骨導超音波知覚メカニズムの解明

研究課題名(英文)Elucidation of mechanisms of distantly-presented bone-conducted ultrasonic perception to develop a novel communication device

研究代表者

中川 誠司 (Nakagawa, Seiji)

千葉大学・フロンティア医工学センター・教授

研究者番号:70357614

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 4,900,000円

研究成果の概要(和文):骨伝導で呈示された20kHz以上の高周波音(骨導超音波)であれば,一部の最重度難聴者にも知覚される.また,この骨導超音波は上肢や体幹部などの,頭部から離れた部位(遠位)に呈示した場合にも知覚可能である.この遠位呈示骨導超音波を利用することで,着け心地が良く音漏れの無い新型オーディオ・デバイスの開発が可能になるが,その知覚メカニズムには不明な点が多く残る.本課題では,ヒトを対象とした心理計測と生体振動計測,およびコンピュータ・シミュレーションによって,遠位呈示骨導超音波の知覚特性と伝搬メカニズムの解明に取り組んだ.その結果,遠位呈示骨導超音波は実用的な情報伝達特性を有すること等が明らかになった.

研究成果の学術的意義や社会的意義本申請課題で解明に取り組んだ遠位呈示骨導超音波知覚,その応用として開発を目指す新型オーディオ・デバイスはいずれも全く前例のないもので,技術的にも極めてユニークである. また,本提案課題で明らかにした遠位呈示骨伝導の知覚特性や伝搬メカニズムは,遠位呈示骨伝導デバイスの実用性を示すと同時にその最適化に有用な知見を示すものであり,骨伝導デバイスの普及に貢献するものと思われる.

研究成果の概要(英文): High-frequency sounds above 20 kHz presented via bone conduction (bone-conducted ultrasound: BCU) can be heard clearly and transmit speech information using amplitude modulation. Additionally, BCU can be perceived even when the vibrator is presented to body parts distant from the head, such as the neck, arm, and trunk. To elucidate mechanisms of this distantly-presented BCU hearing, the perception and propagation characteristics were examined. The results obtained indicated that distantly-presented BCU has good temporal resolution and practical frequency resolution and intelligibility. These results provide useful information to develop a novel audio interface using the distantly-presented BCU hearing.

研究分野: 生体医工学, 聴覚科学

キーワード: 骨伝導 超音波 遠位呈示 知覚特性 伝搬過程

1. 研究開始当初の背景

骨導(骨伝導)によって呈示された周波数 20kHz 以上の高周波音(骨導超音波)であれば、聴覚健常者はもとより、一部の最重度感音性難聴者にも明瞭に知覚される (Lenhardt et al. 1991). 申請者らは、この現象の知覚メカニズムの解明と重度難聴者にも使用可能な新型補聴器(骨導超音波補聴器)への応用 (Nakagawa et al. 2012, 2013) に取り組んできた. 骨導超音波補聴器のプロトタイプは画期的性能を示しているが、実用化に向けて残された課題も少なくない. その最たるものは骨導振動子(骨導スピーカ)の固定方法の改善である.

一般に骨導振動子はある程度の圧力で乳様突起(耳の後ろの骨性隆起)に押し付けて呈示されるが、長時間の装用に伴って痛みが生じることもある。また、硬く丸みを帯びた乳様突起に骨導振動子を安定して保持することは容易ではなく、使用者の動きに伴って最適位置からずれてしまうことが多い。また、頭部への押付呈示には金属製のヘッドバンド等を利用するが、それらは使い勝手、装用感、美容面での改善の余地が大きい。これらの問題は、骨導補聴器が敬遠される要因の一つとなっていた。

一方、申請者らは、以前から骨導超音波が上肢、体幹などの遠位に呈示した場合でも知覚されることを報告していた (Nakagawa et al. 1999). 例えば、上肢や体幹部は振動子を固定しやすく、押付に伴う痛みも生じにくい。また、目立たないように振動子を装用することも容易であるため、この"遠位呈示"を利用することで上述の振動子装用に係る諸問題を解決できる可能性がある。申請者らは、予備実験として、30 kHz の遠位呈示骨導超音波知覚の基礎特性を調べた。 聴覚健常者を対象として、頸部、上腕、前腕等の複数の部位に骨導超音波を呈示した際の検出閾や時間分解能を調べたところ、呈示部位から受容器(蝸牛)までの距離に依存して検出閾が増大するものの、たとえ前腕であっても骨導超音波を十分に知覚可能であること、遠位呈示した場合であっても時間分解能は劣化しないことが確認された (Nakagawa et al. 2018、図 2). この結果は、遠位呈示骨導超音波が補聴器やオーディオ・デバイスに応用可能であることを示している。 しかしながら、遠位呈示骨導超音波知覚に係る先行研究例は他に存在せず、そのメカニズムや情報可搬性には不明な点が多く残されていた。

2. 研究の目的

本研究では、遠位呈示された骨導超音波の知覚・伝搬メカニズムを詳細に調査し、補聴器や新型オーディオ・デバイスとしての応用の可能性を検証すること、さらには呈示方式の最適化のために有用な知見を得ることを目的として、ヒトを対象とした心理計測、生体振動計測等に取り組んだ.

3. 研究の方法

(1) 遠位呈示骨伝導における基礎弁別特性の検討

聴覚健常者を対象にして,振幅変調した骨導超音波(AM 骨導超音波)および可聴帯域(< 20 kHz)の骨伝導音を身体 各部(頸部,上腕,前腕,鎖骨,胸部,背部等)に呈示した場 合の基礎知覚特性(時間弁別能,周波数弁別能等,音像定 位能)を調べた(図 1).

(2) 遠位呈示骨伝導における体内伝搬特性の検討 骨導超音波,および可聴周波数帯の骨伝導音を遠位呈示 した際の振動伝搬特性を調べた.

(3) 遠位呈示骨伝導における音声知覚特性の検討

遠位呈示された AM 骨導超音波に対する単音節明瞭度を 測定した. 男女各 1 名によって発話された日本単音節によっ て 30 kHz 骨導超音波を振幅変調し、身体の各部(頚部、胸 部、鎖骨、乳様突起など)に呈示した. 振幅変調方式として DSB-TC 方式、DSB-SC 方式、SSB 方式、および Transposed 方式の 4 種類を用いた(図 2). また、単音節明瞭度の結果を 元に異聴傾向を算出し、音素ごとに各呈示部位、変調方式の 影響を明らかにした。

4. 研究成果

(1) 基礎弁別特性

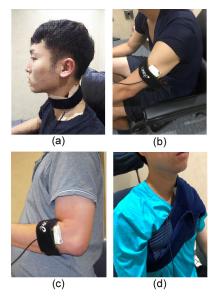


図 1 骨伝導音の遠位呈示の様子. 伸縮バンドを利用して (a) 頸部, (b) 上腕, (c) 前腕, (d) 鎖骨, および胸部等に振動子を固定した.

AM 骨導超音波, 可聴域骨伝導音に関わらず, 気導音と同様の時間分解能が得られた. 骨伝導音の呈示部位による時間分可能の変化は観察されなかった. また, 骨導超音波と可聴帯域の両者における骨伝導音の周波数弁別能は 250 Hz 以下の低域, 4000 Hz 以上の高域でやや劣化したものの, 骨伝導音の呈示部位による劣化は観察されなかった. 一方, 骨導超音波においては, 復調音をマスキングした場合の周波数分解能は, マスキングしない場合に比べて大きく劣化することがわかった.

また,両側の側頭部(乳様突起),頚部(胸鎖乳突筋),鎖骨に呈示した骨伝導刺激に時間差および強度差を与え,左右側の弁別閾を調べた結果,気導音に比較して弁別閾が上昇する傾向が認められるものの,遠位呈示骨伝導においても両耳間時間差,両耳間レベル差を手がかりとした音像定位が可能であることが示された.

(2) 体内伝搬特性

骨導超音波では可聴帯域骨伝導音に比べて距離減衰が大幅に小さいことが改めて確認された.呈示部位間の比較では概ね心理知覚特性と矛盾しない結果が得られたが,低周波 (200 Hz 以下) および高周波 (2kHz以上) においては,乳様突起よりも胸鎖乳突筋や鎖骨からの減衰量が小さいことがわかった.

(3) 音声知覚特性の検討

頚部や体幹上部に呈示した場合は実用的な明瞭度を得られること,乳様突起に刺激呈示した先行研究と同様にDSB-TC方式および Transposed 方式では比較的高い明瞭度が得られることがわかった(図 3).また,先行研究とは異なり,全ての呈示部位・変調方式で,女声に対して男声よりも高い正答率が得られた.この結果は体内で生じる自己復調特性に依存したものである可能性がある.

異聴傾向においては、話者性別の効果は摩擦音で顕著であり、頚部では拗音の正答率が有意に上昇することが確認された.また、Transposed では、DSB-TC に対する無声子音の正答率の上昇が確認された.

さらに、「有声/無声」、「調音位置」、「調音様式」といった調音素性情報の伝達特性を分析した、その結果、母音部の伝達は子音部よりも良好であること、調音位置情報の伝達率が最も低く、拗音の伝達率は呈示部位が頭部から遠くなるほど低下すること等がわかった。

これらの結果は、遠位呈示骨導超音波が 実用的な音声情報伝達性能を持つものの、 伝搬過程における周波数情報の劣化の影響をある程度は受けることを示している.

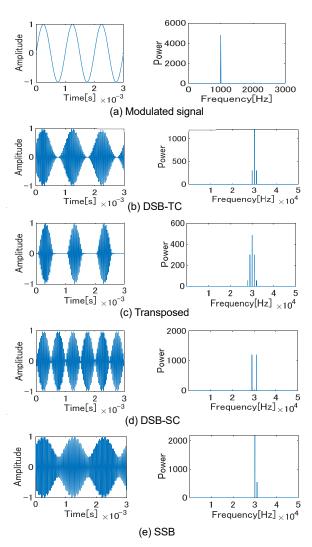


図2. 骨導超音波に音声情報を重畳させるために用いた振幅変調方式.

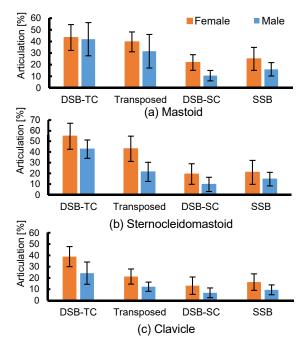


図 3. 乳様突起, 胸鎖乳突筋, 鎖骨の各部位において 各変調方式の AM 骨導超音波に対して得られた明瞭度

5 . 主な発表論文等

「雑誌論文 〕 計264件(うち査読付論文 115件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 13件)

【雑誌論又】 計264件(つら貸読付論又 115件/つち国際共者 0件/つちオーノンアクセス 13件)	
1 . 著者名 Miwa Asuka、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	4.巻 62
2.論文標題 Occlusion effects by bone-conducted sound to the facial parts assessed by hearing threshold and ear canal sound pressure	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6 . 最初と最後の頁 SJ1051~SJ1051
担無給かの001 / ニンカル・オフィーカト 独印フト	木井の左無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/accb61	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S	10
2 . 論文標題 Improved Low-Frequency Crosstalk Cancellation in Bone Conduction Using Bone Transducers and Probe Microphone	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 IEEE Access	6 . 最初と最後の頁 79201~79212
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1109/ACCESS.2022.3194171	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英老々	4 *
1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻 62
	62 5.発行年 2023年
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial	5 . 発行年
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/acb6a0	5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 SJ1016~SJ1016
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/acb6a0 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 SJ1016~SJ1016 査読の有無 有 国際共著
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/acb6a0 オープンアクセス	5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 SJ1016~SJ1016 査読の有無 有
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/acb6a0 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5. 発行年 2023年 6. 最初と最後の頁 SJ1016~SJ1016 査読の有無 有 国際共著
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/acb6a0 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和 あす華、大塚 翔、中川 誠司 2 . 論文標題	5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 SJ1016~SJ1016 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 60
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/acb6a0 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和 あす華、大塚 翔、中川 誠司 2 . 論文標題 呈示部位の違いが耳栓効果に与える影響:顔面部位への骨伝導 3 . 雑誌名 生体医工学	5. 発行年 2023年 6. 最初と最後の頁 SJ1016~SJ1016 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 60 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 220_2~220_2
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/acb6a0 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和 あす華、大塚 翔、中川 誠司 2 . 論文標題 呈示部位の違いが耳栓効果に与える影響:顔面部位への骨伝導 3 . 雑誌名	5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 SJ1016~SJ1016 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 60 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Basic perception and propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to facial parts 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .35848/1347-4065/acb6a0 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和 あす華、大塚 翔、中川 誠司 2 . 論文標題 呈示部位の違いが耳栓効果に与える影響:顔面部位への骨伝導 3 . 雑誌名 生体医工学	5. 発行年 2023年 6. 最初と最後の頁 SJ1016~SJ1016 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 60 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 220_2~220_2

1.著者名	4 . 巻
	_
上村 昂、大塚 翔、中川 誠司	Annua I 60
2 . 論文標題	5 . 発行年
外耳道内音圧および頭部振動の計測による顔面呈示骨伝導音の伝搬特性評価	2022年
外井垣内首圧のよび頭部振動の計測による顔囲玉示育伝導首の伝搬特性評価	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
生体医工学	221_1 ~ 221_1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11239/jsmbe.Annual60.221_1	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カープラファビスではない。人はカープラファブビスが四条	_
# 10 -	1
1.著者名	4 . 巻
Nanri S, Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S	44
nam. 5, Simbou 1, Stoute 5, Heregare 5	''
- AA) 1777	- 70 /= -
2.論文標題	5.発行年
Assessment of the intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp: Effect of	2022年
	2022—
microphone sensitivity	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc	2838
1100. Aline The Com Tell Ling was biol Coo	2000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	l h
+ -f\.74+7	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. ***	. 24
1.著者名	4 . 巻
Miwa A, Otsuka S, Nakagawa S	44
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
2 - 全个一播店	F 整仁左
2.論文標題	5.発行年
Occlusion Effects by Bone-Conduction Stimuli to the Facial Parts	2022年
2. http://dx	6 早知と早後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc	2837
· ·	
日半込みのDOL / デジカリナイバー カー かのファ	本誌の左便
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
なし	有
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセス	有国際共著
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセス	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S	国際共著 - 4.巻 44
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 44 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S	国際共著 - 4 . 巻 44
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 44 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium	国際共著 - 4.巻 44 5.発行年 2022年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス	国際共著 - 4.巻 44 5.発行年 2022年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名 Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 4163-4166
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名 Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 4163-4166
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名 Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 4163-4166
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名 Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 4163-4166 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名 Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC48229.2022.9872017	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 4163-4166 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名 Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC48229.2022.9872017 オープンアクセス	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 4163-4166
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Perception and Propagation Characteristics of Bone-Conducted Stimuli Presented to the Human Facial Cranium 3 . 雑誌名 Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC48229.2022.9872017	国際共著 - 4 . 巻 44 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 4163-4166 査読の有無 有

1.著者名	. 244
	4 . 巻
Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S	-
2 *A-> LEGIS	F 787- F
2 . 論文標題	5 . 発行年
Transmission characteristics of bone-conducted speech detected on the scalp: Analyses by mono-	2022年
syllable articulation tests, speech transmission indices, and phoneme confusion patterns	
considering phonological features	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of Life Engineering Symposium 2022(LE 2022)	1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S	2022
Thanbyan, steam of hanagana o	
2.論文標題	5.発行年
Unilateral Crosstalk Cancellation in Bone Conduction Using an Accelerometer Placed at the	2022年
Mastoid	2022 1
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	855-858
口平日普子云2022年怀子听九光农云舑决誧又朱	000-000
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本誌の左領
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
南里聡志,大塚翔,中川誠司	2022
2.論文標題	5 . 発行年
2 · 調又係超 頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性	2022年
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性	2022年
	1 - 1 - 1
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性	2022年
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	2022年 6 . 最初と最後の頁 979-980
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	2022年 6 . 最初と最後の頁
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	2022年 6 . 最初と最後の頁 979-980
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司 2.論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3.雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 945-946
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 945-946
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 945-946
頭皮上で検出される骨伝導音声の調音素性情報伝達特性 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	2022年 6.最初と最後の頁 979-980 査読の有無 無 国際共著 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 945-946

	1 . w
1.著者名	4 . 巻
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司	2022
	- 7V./= 6-
2 . 論文標題	5.発行年
顔面に呈示された骨伝導音の周波数弁別特性	2022年
	6 PM PW - T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	947-948
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木柱の左仰
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	四际六 有
カーフンナッと人にはない、人はカーフンナッと人が四共	
1 . 著者名	4 . 巻
	4 · 술 2022
田村茜,イルワンシャー,大塚翔,中川誠司	2022
2 . 論文標題	5.発行年
2 . 調文信題 耳介の形態・硬度および性別が軟骨伝導の検出闘特性に及ぼす影響	2022年
サルマルは、反反のよりは別が共日に待り伏山圏付けに区はす影音	2022+
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2022年秋季研究発表会講演論文集	943-944
口个日言于以2024年10千岁几元权公明决谳人未	J4J-344
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	, ,,,,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S	2022
2.論文標題	5 . 発行年
Effects of in-ear-sensor type on bone-conduction-based crosstalk cancellation: an assessment by	
tone reception thresholds	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 24th International Congress on Acoustics ICA 2022	ABS-0200
-	
 	査読の有無
 	査読の有無 有
なし	有
なし オープンアクセス	
なし	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有 国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S	有 国際共著 - 4.巻 2022
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S	有 国際共著 - 4.巻 2022
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp	有 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 2022 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp	有 国際共著 - 4.巻 2022 5.発行年 2022年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 2022 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics	有 国際共著 - 4 . 巻 2022 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 133-134
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics	有 国際共著 - 4 . 巻 2022 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 133-134
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics	有 国際共著 - 4 . 巻 2022 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 133-134
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics	有 国際共著 - 4 . 巻 2022 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 133-134 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nanri S, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics	有 国際共著 - 4 . 巻 2022 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 133-134

1.著者名 Miwa A, Otsuka S, Nakagawa S 2.論文標題 Occlusion effcts by bone-conducted sound to the facial parts assessed by hearing threshold and ear-canal sound pressure measurements 3.雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics	4 . 巻 2022 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 3Pa5-2
2. 論文標題 Occlusion effcts by bone-conducted sound to the facial parts assessed by hearing threshold and ear-canal sound pressure measurements 3. 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
Occlusion effcts by bone-conducted sound to the facial parts assessed by hearing threshold and ear-canal sound pressure measurements 3. 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6 . 最初と最後の頁
Occlusion effcts by bone-conducted sound to the facial parts assessed by hearing threshold and ear-canal sound pressure measurements 3. 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6 . 最初と最後の頁
ear-canal sound pressure measurements 3 . 雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	3Pa5-2
なし	1
なし	査読の有無
	_
+	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 # + / / /	, yr
1 . 著者名	4.巻
Uemura K, Otsuka S, Nakagawa S	2022
2 . 論文標題	5 . 発行年
Propagation characteristics of bone-conducted sounds presented to the facial parts assessed by	2022年
ear-canal sound pressure and head vibration	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics	61-62
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	重硫の行無 有
<i>'</i> & ∪	† †
T − プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S	2022
2 . 論文標題	5.発行年
Towards Real-Time Crosstalk Cancellation for Application in Bone Conduction Hearing Devices	2022年
11	I
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会 2022 抄録集	2-3
	-
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
	////
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
1.著者名	4 . 巻
	- 4 . 巻 - 2022
田村茜,I rwansyah,大塚翔,中川誠司	2022
2 . 論文標題	5.発行年
- 1	2022年
477 2772 以及が 10年275年 関係では、10年 2月	
ı	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3 . 雑誌名 日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会 2022 抄録集	41
日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会 2022 抄録集	41
日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会 2022 抄録集 弱載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	41 査読の有無
日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会 2022 抄録集	41
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	41 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
髙橋尚也,大塚翔,中川誠司	2022
19119年30年77年20日,17月日晚年3	2022
2.論文標題	5 . 発行年
遠位呈示骨導超音波の振幅変調方式および話者性別が単音節明瞭度に及ぼす影響	2022年
之一。	
2 145-47	C = 17 1. = 1/4 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会 2022 抄録集	29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	~
オープンアクセス	国際共著
	国际共者
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 节业权	1 4 **
1 . 著者名	4 . 巻
湯淺麻生,大塚翔,中川誠司	2022
2	F 発仁生
2 . 論文標題	5 . 発行年
競合音存在下での聴取能力におけるワーキングメモリ容量と時間情報処理能力の役割の違い	2022年
	·
그 바닥성	6 見知に見後の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会 2022 抄録集	27
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	711
	[=] [Bbg ++-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	-
1 527	1 4 *
1.著者名	4 . 巻
Trwansyah, Otsuka S, Nakagawa S	2023
그 ^소 스 간 插 陌	F 整仁左
2.論文標題	5.発行年
Real-Time Implementation of Unilateral Crosstalk Cancellation Based on Bone Conduction	2023年
,	·
2 ht-t-47	て 見知に見後の苦
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the IEEE 41st International Conference on Consumer Electronics (ICCE)	1-6
(1.42)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
4. U	·FI
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
マン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1.著者名	4 . 巻
	2023
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S	
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S	
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S	5.発行年
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2.論文標題	
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing	5 . 発行年 2023年
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae	2023年
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing	
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名	2023年 6 . 最初と最後の頁
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae	2023年
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名	2023年 6 . 最初と最後の頁
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名 日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集	2023年 6 . 最初と最後の頁 455-458
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名 日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集	2023年 6 . 最初と最後の頁 455-458
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名 日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2023年 6.最初と最後の頁 455-458 査読の有無
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名 日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集	2023年 6 . 最初と最後の頁 455-458
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名 日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 455-458 査読の有無
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名 日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 455-458 査読の有無 無
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2. 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3. 雑誌名 日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2023年 6.最初と最後の頁 455-458 査読の有無
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Research on vibration characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by comparing acceleration measurements between artificial and human pinnae 3 . 雑誌名 日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 455-458 査読の有無 無

1 . 著者名	4 . 巻
Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S	2023
2.論文標題	5 . 発行年
An Inexpensive 3D-Printed Bell Stethoscope Connected to a Smartphone for Low-Resource Settings	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集	285-286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
カープンデクセスとはない、又はカープンデクセスが四無	-
1 . 著者名	4 . 巻
南里聡志,大塚翔,中川誠司	2023
2 . 論文標題	5 . 発行年
頭皮上で検出される骨伝導音声の明瞭度:子音種類毎の検討	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集	523-524
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
\$U	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
美和あす華,大塚翔,中川誠司	2023
2.論文標題	5 . 発行年
骨伝導における耳栓効果が単音節明瞭度に及ぼす影響:話者性別の比較	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集	513-514
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
上村 昂,大塚 翔,中川誠司	2023
2 . 論文標題	5.発行年
顔面に呈示された骨伝導音の音声伝達特性:単音節明瞭度試験による評価	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集	515-516
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
田村茜,大塚翔,中川誠司	2023
2 *A->-LIE DX	5 3%/= fr
2 . 論文標題	5.発行年
耳介血腫が軟骨伝導の検出闘特性に及ぼす影響	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	1
日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集 	487 - 488
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	7W
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
髙橋尚也,大塚翔,中川誠司	2023
Taliana C / X and / I / New C	
2.論文標題	5.発行年
振幅変調方式の違いが遠位呈示骨導超音波の単音節明瞭度に及ぼす影響の検討	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2023年春季研究発表会講演論文集	525-526
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
中川誠司	79
0. AA-LIEUT	- 7V./= h-
2 . 論文標題	5.発行年
脳磁界計測 (MEG) 基礎理論と聴覚脳機能計測への応用	2023年
2 545-57	て 見知に見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会誌	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
	P
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
The second secon	
1. 著者名	4 . 巻
Nakagawa Seiji, Doi Koichiro, Otsuka Sho	44
2 . 論文標題	5.発行年
Characteristics of speech perception by distantly-presented bone-conducted ultrasound assessed	2022年
by word intelligibility and monosyllable articulation tests	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc	4179-4182
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1109/EMBC48229.2022.9871490	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	1 *
	4.巻
Nakagawa S, Ishikawa H, Otsuka S	43
o AA-JEEF	= 7V./= h=
2 . 論文標題	5 . 発行年
Characteristics of speech perception of bone-conducted ultrasound presented to the neck and the	2022年
trunk	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 43rd Symposium on UltraSonic Electronics	2Pa5-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
40	H H
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · = · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	1 . "
1.著者名	4 . 巻
中川 誠司,石川大夢,土井 公一朗,大塚翔	60
2.論文標題	5 . 発行年
頚部や体幹に呈示された骨伝導の情報伝達特性	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
生体医工学	215_2
エかレーナ	210_2
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> 査読の有無
10.11239/jsmbe.Annual60.215_2	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Naito U, Yap SF, Shiba R, Otsuka S, Yumoto M	_
hanagana o, harto o, hap or, olinba k, otoana o, hamoto iii	
2 . 論文標題	5.発行年
Evaluation of differences of melody-contour perception between musicians and non-musicians by	2022年
mismatch field	
mismatch field 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
mismatch field	
mismatch field 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022)	6 . 最初と最後の頁 433
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022)	6 . 最初と最後の頁 433
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2.論文標題	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 - 5 . 発行年
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2.論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2.論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2.論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2.論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2.論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
mismatch field 3.雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2.論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
mismatch field 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2 . 論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022)	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 322
mismatch field 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2 . 論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 322 査読の有無
mismatch field 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2 . 論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022)	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 322
mismatch field 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2 . 論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 322 査読の有無
mismatch field 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S, Yumoto M 2 . 論文標題 Evaluation of fundamental perception characteristics of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurements 3 . 雑誌名 Proc. of the 22nd International Conference on Biomagnetism (Biomag2022) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 433 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 322

1.著者名	4 . 巻
Otsuka Sho, Nakagawa Seiji, Furukawa Shigeto	bhac002
Total of the transfer of the t	
A A LITT	_ 7/
2 . 論文標題	5.発行年
Expectations of the Timing and Intensity of a Stimulus Propagate to the Auditory Periphery	2022年
through the Medial Olivocochlear Reflex	
	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cerebral Cortex	1-11
H #MAA - and (#PAN E II AMPI) 7 .	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/cercor/bhac002	有
.0.1.000/001/01/01/0002	13
オープンアクセス	国際共英
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	1
4 ###	4 244
1.著者名	4 . 巻
Ishikawa Hiromu、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	61
2 * 4 * + # 7 *	F 384-7-
2.論文標題	5 . 発行年
Threshold and frequency- and temporal resolutions of distantly presented bone-conducted sound	2022年
in the audible-frequency range	,
	6 見知に見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Journal of Applied Physics	SG1065 ~ SG1065
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.35848/1347-4065/ac4cdf	有
101000 107 10 11 10007 40 1001	13
+ -1,75-7	同咖井 菜
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	L L
	1 4 44
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	4.巻 263
	_
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	263
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題	263
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	5 . 発行年
1.著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2.論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp	263 5.発行年 2021年
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名	5 . 発行年
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp	263 5.発行年 2021年
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1. 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2. 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3. 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1. 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2. 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3. 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 -
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 -
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 . 3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021 論文集	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-5
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021 論文集	263 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 4.巻 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-5 査読の有無
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021 論文集	263 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-5
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021 論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	263 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 4.巻 - 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-5 査読の有無 有
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 . 3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021 論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	263 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 4.巻 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-5 査読の有無
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji 2 . 論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp 3 . 雑誌名 INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3397/IN-2021-2689 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery 3 . 雑誌名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021 論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	263 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 4394~4401 査読の有無 有 国際共著 4.巻 - 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-5 査読の有無 有

1.著者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司	4.巻
2.論文標題	5.発行年
2 · 端又係超 遠位呈示された骨伝導音による音声伝達性能の検討	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2021年 秋季研究発表会講演論文集	731-732
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし 	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1.著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司	4.巻
2 . 論文標題	5.発行年
振動子呈示部位が軟骨伝導知覚に及ぼす影響	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2021年 秋季研究発表会講演論文集	709-710
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
19型は開文のDOT (プンタルオンシェット画域が丁) なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
	4 . 巻
南里聡志,信夫大志,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
頭皮上で検出される骨伝導音声の明瞭性の評価:話者性別の影響	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2021年 秋季研究発表会講演論文集	745-746
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4. ***	1 . w
1.著者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司	4.巻
2.論文標題	5.発行年
顔面に呈示した骨伝導音による耳栓効果	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2021年 秋季研究発表会講演論文集	733-734
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
The state of the s	

1.著者名	4 . 巻
上村 昂,大塚 翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の検出閾計測	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2021年 秋季研究発表会講演論文集	713-714
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
Irwansyah、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	42
2.論文標題	5 . 発行年
Evaluation of Bone-Conducted Cross-Talk Sound in the Head for Biometric Identification	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the IC3INA 2021: The 2021 International Conference on Computer, Control, Informatics and Its Applications	76-80
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1145/3489088.3489119	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4.巻
Nagatani Y, Ishikawa H, Hoshi T, Nakagawa S	42
2.論文標題	5.発行年
A Preliminary Study of Pitch Matching between 40-kHz Air-conducted Ultrasonic Wave and Air-conducted Audible Sound	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 42nd Symposium on UltraSonic Electronics	57-58
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Doi K, Otsuka S	42
2.論文標題	5.発行年
Characteristics of speech perception by distantly-presented bone-conducted ultrasound	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 42nd Symposium on UltraSonic Electronics	57-58
	1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u> 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有

1 . 著者名	4 . 巻
Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S	-
2.論文標題	
Basic perceptual characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds: Threshold and frequency- and temporal resolutions in the audible-frequency range	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 42nd Symposium on UltraSonic Electronics	57-58, 2Pa5-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
TO SOLVE COMMENT SOLVE COMMENT	
1 . 著者名 Ishikawa Hiromu、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	4 . 巻
2.論文標題 Basic properties of distantly-presented bone-conduction perception [*]	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Proceedings of the 43rd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 6376-6379
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC46164.2021.9629629	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	•
1 . 著者名 Sugawara Yusei、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	4 . 巻 -
2.論文標題 Estimation of relationships between transducer placements and peripheral propagation in cartilage conduction [*]	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Proceedings of the 43rd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6 . 最初と最後の頁 6755-6758
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC46164.2021.9629860	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Nanri Satoshi、Shinobu Taishi、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	4. 巻
2.論文標題 Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp assessed by mono-syllable articulation and speech transmission index	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Proceedings of the 43rd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 6743-6746
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC46164.2021.9630162	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Doi K, Otsuka S	-
2.論文標題 Characteristics of speech perception by distantly-presented bone-conducted ultrasound assessed by phonetic-feature transmission analysis	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Abstracts of Neuroscience 2021	6.最初と最後の頁 447.02
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 \$4.0	4 4 4
1 . 著者名 Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻
2.論文標題 Characteristics of speech transmission of distantly-presented bone-conducted sounds in the audible-frequency range	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Abstracts of Neuroscience 2021	6.最初と最後の頁 492.1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 \$40	1 4 44
1 . 著者名 Sugawara Y, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻
2.論文標題 Relationships between transducer placements and peripheral propagation of the cartilage- conduction assessed by hearing threshold with water injection into the ear canal	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Abstracts of Neuroscience 2021	6.最初と最後の頁 446.04
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 石川大夢,土井公一朗,長谷芳樹,星貴之,中川誠司	4.巻 51
2 . 論文標題 40 kHz 空中超音波の聴覚閾	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 2021 年日本音響学会聴覚研究会資料	6.最初と最後の頁 443-447
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

	1 . "
1. 著者名	4.巻
美和あす華,大塚翔,中川誠司	-
2 *Andrews 1875	F 36/-/-
2. 論文標題	5.発行年
顔面部位への骨伝導における耳栓効果の検討	2021年
	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2021抄録集	35
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	大芸の左仰
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
	国际共者
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. ***	I . 24
1. 著者名	4 . 巻
上村 昂,大塚 翔,中川誠司	-
0 AA-LITET	- 7V./- hr
2. 論文標題	5.発行年
顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の知覚および伝搬特性の解明	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2021抄録集	17
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Doi K, Otsuka S	-
2.論文標題	5.発行年
Speech perception by distantly-presented bone-conducted ultrasound: Assessments by a	2022年
monosyllable articulation test and phonetic-feature transmission analyses	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of The Association for Research in Otolaryngology 45th Annual Midwinter Meeting	
	621
	621
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	621 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	
	査読の有無 有
なし オープンアクセス	査読の有無
なし	査読の有無 有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 有
なし オープンアクセス	査読の有無 有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 有 国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	査読の有無 有 国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	査読の有無 有 国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth 3 . 雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth 3 . 雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth 3 . 雑誌名 Proceedings of 2022 IEEE 4th Global Conference on Life Sciences and Technologies (LifeTech)	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 139-143
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth 3 . 雑誌名 Proceedings of 2022 IEEE 4th Global Conference on Life Sciences and Technologies (LifeTech) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 139-143
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth 3 . 雑誌名 Proceedings of 2022 IEEE 4th Global Conference on Life Sciences and Technologies (LifeTech)	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 139-143
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth 3 . 雑誌名 Proceedings of 2022 IEEE 4th Global Conference on Life Sciences and Technologies (LifeTech) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 139-143
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth 3 . 雑誌名 Proceedings of 2022 IEEE 4th Global Conference on Life Sciences and Technologies (LifeTech) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 139-143

1.著者名	
	4 . 巻
Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S	-
2.論文標題	5 発行在
	5 . 発行年
Measurement of Tone Reception Thresholds With and Without Bone-Conduction-Based Crosstalk	2022年
Cancellation	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	653-656
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	有
	13
tープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Otsuka S, Nakagawa S	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Estimation on frequency characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by hearing	2022年
threshold, ECSP and acceleration	-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	675-678
曷載論文のDOⅠ(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ##/	
1 . 著者名	4.巻
石川大夢,大塚翔,中川誠司	-
스스	F 38/-/-
2. 論文標題	5.発行年
両側に遠位呈示された可聴帯域の骨伝導音による頭内定位	2022年
	Ì
htt:- 67	て 目知に目然の苦
	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	6.最初と最後の頁 703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	703-704 査読の有無 有
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	703-704 査読の有無 有
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	703-704 査読の有無 有 国際共著
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	703-704 査読の有無 有
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	703-704 査読の有無 有 国際共著
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	703-704 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 -
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2. 論文標題	703-704 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司	703-704 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 -
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし エープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 ・著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 ・論文標題 振動子呈示部位の変化に伴う軟骨伝導伝搬成分比の推定	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし エープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2. 論文標題 振動子呈示部位の変化に伴う軟骨伝導伝搬成分比の推定 3. 雑誌名	703-704 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 ・著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 ・論文標題 振動子呈示部位の変化に伴う軟骨伝導伝搬成分比の推定	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2.論文標題 振動子呈示部位の変化に伴う軟骨伝導伝搬成分比の推定 3.雑誌名	703-704 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 振動子呈示部位の変化に伴う軟骨伝導伝搬成分比の推定 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 振動子呈示部位の変化に伴う軟骨伝導伝搬成分比の推定 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	703-704
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 振動子呈示部位の変化に伴う軟骨伝導伝搬成分比の推定 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	703-704

***	T . W
1 . 著者名	4 . 巻
南里聡志,信夫大志,大塚翔,中川誠司	-
2 *A-2-1#EBS	F 36/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
頭皮上で検出される骨伝導音声の明瞭性:マイクロホンの感度の影響	2022年
2 404 6	6 P47 P// 6 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2022年春季研究発表会【講演論文集】	757 - 758
担業公上の201 / ごごとりよびご トレ 401リフン	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし なし	有
 オープンアクセス	同咖井茶
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
美和あす華,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
顔面部位への骨伝導における耳栓効果:頭部構造の影響の検討	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	729-730
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
1.著者名 上村 昂,大塚 翔,中川誠司	4.巻
—	_
—	_
上村 昂,大塚 翔,中川誠司	-
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題	5 . 発行年
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題	5 . 発行年
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価 3 . 雑誌名	- 5.発行年 2022年
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価	- 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司2.論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	- 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価 3 . 雑誌名	- 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司2.論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集	- 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 709-710
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司 2. 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3. 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 709-710
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司 2. 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3. 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 709-710
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司 2. 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3. 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司 2. 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3. 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有
 上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司 2.論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価 3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S 2 . 論文標題	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司2.論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 Nakagawa S2.論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2020年
上村 昂,大塚 翔,中川誠司 2.論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価 3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Nakagawa S 2.論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications 3.雑誌名	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1 . 著者名 Nakagawa S2 . 論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2020年
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価 3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nakagawa S 2 . 論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications 3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司2.論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 Nakagawa S2.論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications3.雑誌名 Acoustical Science and Technology	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 851-856
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司2.論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 Nakagawa S2.論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications3.雑誌名 Acoustical Science and Technology掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 851-856
上村 昂 , 大塚 翔 , 中川誠司2 . 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価3 . 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1 . 著者名 Nakagawa S2 . 論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 851-856
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司2. 論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価3. 雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1. 著者名 Nakagawa S2. 論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications3. 雑誌名 Acoustical Science and Technology掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1250/ast.41.851	
上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司2.論文標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性: 外耳道内音圧および頭部振動による評価3.雑誌名 日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 Nakagawa S2.論文標題 Ultrasonic hearing by bone-conduction and its applications3.雑誌名 Acoustical Science and Technology掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 709-710 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 851-856

	. 24
1 . 著者名	4.巻
中川誠司	76
2.論文標題	5.発行年
全・ 間	2020年
月広等による起目放転見しての心力	20204
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会誌	654-659
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.20697/jasj.76.11 654	有
, , =	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>
1.著者名	4 . 巻
Doi Koichiro, Ogino Riki, Otsuka Sho, Nakagawa Seiji	・ こ 59
DOT NOTCHITO, OGINO KIKI, Otsuka SHO, Nakagawa Serji	39
2.論文標題	5.発行年
Self-demodulation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasound in the human	
body presented to the neck, trunk and arm	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Journal of Applied Physics	SKKE26 ~ SKKE26
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
可能な問題というして(サプラグルオフフェットではかり) 10.35848/1347-4065/ab918d	有
10.000 10/1011 1000/ 000100	r
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Nakagawa S	42
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2020年
Assessments of basic properties of distantly-presented ultrasound	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and	
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6 . 最初と最後の頁 6367
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 6367 査読の有無
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6 . 最初と最後の頁 6367
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 6367 査読の有無 有
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 6367 査読の有無
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 6367 査読の有無 有
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 6367 査読の有無 有
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42
3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2.論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42
3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42 5.発行年 2020年
3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 日本語文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility 3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42 5.発行年 2020年
3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility 3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 3877-3880
3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility 3 . 雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2.論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility 3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1109/EMBC44109.2020.9176626	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 国際共著 - 4.巻 42 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 3877-3880 査読の有無
3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2.論文標題 Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility 3.雑誌名 Proceedings of the Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 6367 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 42 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 3877-3880

1 . 著者名 Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻 42
2.論文標題 Effect of interlateral time and intensity differences of distantly-presented bone-conducted ultrasound on lateralization	5 . 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 3881-3884
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC44109.2020.9176270	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Sugawara Y, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻 42
2.論文標題 Estimation of hearing threshold and propagation process in the head for the development of an output calibration method for cartilage-conduction	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Proceedings of Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 6335
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. ##.6	
1 . 著者名 Otsuka S, Nakagawa S, Furukawa S	4.巻 -
2.論文標題 Temporal Expectation Modulates Cochlear Efferent Feedback	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Proceedings the 43rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Otsuka S, Nakagawa S, Furukawa S	4 . 巻 ·
2 . 論文標題 Effect of Expectation of Stimulus intensity on Medial Olivocochlear Bundle Reflex	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Proceedings the 49th International Congress and Exposition on Noise Control Engineering	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名 Nakagawa S, Nakajima H, Otsuka S	4.巻
2 . 論文標題	5.発行年
Effects of parameters of HVAC noise on subjective preference and intellectual productivity	2020年
3.雑誌名 Proceedings the 49th International Congress and Exposition on Noise Control Engineering	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 英老权	
1 . 著者名 Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S	4 . 巻
2. 論文標題 Effects of vibrator placement and ambient noise on perception of boneconducted sound during erplugging	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Proceedings the 49th International Congress and Exposition on Noise Control Engineering	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 ***/7	1 , 24
1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Otsuka S, Junghun Noh, Nakagawa S	4 . 巻 2020秋号
2. 論文標題 Discussion on cartilage conduction applied on mobile phones by measuring ear-canal sound pressure	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 日本音響学会講演論文集	6.最初と最後の頁 553-556
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
The state of the s	1
1.著者名 土井公一朗,大塚翔, 中川誠司	4 . 巻 2020秋号
 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の単音節明瞭度・単語了解度と調音素性情報伝達特性の分析 	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 日本音響学会講演論文集	6.最初と最後の頁 589-592
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

. # 7. 6	I . w
1 . 著者名	4 . 巻
実川徹,大塚翔,中川誠司	2020秋号
2 . 論文標題	5.発行年
耳介への押付呈示圧が軟骨伝導知覚に与える影響	2020年
	·
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	84
口平日音子云两次啸又朱	04
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
	Company of the state of the sta
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
信夫大志,大塚翔,中川誠司	2020秋号
	2020174 3
2.論文標題	5.発行年
耳栓装用時の骨伝導音知覚に及ぼす刺激呈示部位の効果:単音節明瞭度の比較	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	607-608
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
60	////
オープンアクセス	国際共著
	四际 <u>大</u> 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4.巻
菅原優聖,大塚翔,中川誠司	2020秋号
2.論文標題	5 . 発行年
軟骨伝導における呈示部位と聴覚における外耳道内音圧の関係	2020年
THE IMPROVED THE PROPERTY OF T	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	
口平目管子云确供픎乂朱	587-588
#日 # ± Δ ナ ホ D	
	査読の有無
掲載論又のDOI(テンタルイプシェクト識別士) なし	(登読の有無) 無
なし	無
なし オープンアクセス	
なし	無
なし オープンアクセス	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
なし オープンアクセス	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司	無 国際共著 - 4.巻 2020秋号
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 2020秋号 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司	無 国際共著 - 4.巻 2020秋号
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討	無 国際共著 - 4.巻 2020秋号 5.発行年 2020年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討	無 国際共著 - 4.巻 2020秋号 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4.巻 2020秋号 5.発行年 2020年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討	無 国際共著 - 4 . 巻 2020秋号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 2020秋号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	無 国際共著 - 4 . 巻 2020秋号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 327-332
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 - 4 . 巻 2020秋号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 327-332 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	無 国際共著 - 4 . 巻 2020秋号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 327-332
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	無 国際共著 - 4 . 巻 2020秋号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 327-332 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 - 4 . 巻 2020秋号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 327-332 査読の有無

1.著者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司	4.巻 50-6
2 . 論文標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨伝導音の基礎知覚特性	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料	6.最初と最後の頁 327-332
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 ***	
1.著者名 富田繭子,大塚翔,中川誠司	4.巻
2. 論文標題 振動覚が骨伝導知覚に及ぼす影響の検討	5 . 発行年 2020年
2 hAt ±+ 47	こ 目知に目後の方
3 . 雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2020抄録集	6.最初と最後の頁 12
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 南里聡志,信夫大志,大塚翔,中川誠司	4.巻
2 . 論文標題 頭皮上に設置した骨伝導マイクロホンの音声明瞭度	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2020抄録集	6.最初と最後の頁 32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 土井公一朗,大塚翔,中川誠司	4.巻
2 . 論文標題 Characteristics of speech perception by distantly-presented bone-conducted ultrasound assessed by word intelligibility, monosyllable articulation, and phonetic-feature transmission analysis	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Proceedings of Life Engineering Symposium 2020(LE 2020)	6 . 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名 Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S	4 . 巻 -
2.論文標題	5.発行年
Development of a bone-conduction device available under noisy environment - Effect of vibrator	2020年
3.雑誌名 Proceedings of Life Engineering Symposium 2020(LE 2020)	6.最初と最後の頁 48-53

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Shinobu T, Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S	4. E 44
2.論文標題	5.発行年
Discussion on the Influence from Materials of Earplugs in Bone Conduction by Hearing Threshold and ECSP Measurements	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology Annual Midwinter Meeting	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	44
2.論文標題	5.発行年
Perceptual characteristics of bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk, and arms; Estimations of word intelligibility, monosyllable articulation, and phonetic-feature transmission characteristics	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology Annual Midwinter Meeting	116-117
担封公立のDOL / ごごカリナブジェカト並のフト	木柱の左征
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- · · ·
1.著者名	4 . 巻
Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S	44
2.論文標題	5.発行年
Effect of the Vibrator Placement on Perception of Bone-Conducted Sound During Earplugging: Comparison of Monosyllable Articulation	2021年
3.雑誌名 Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology Annual Midwinter Meeting	6.最初と最後の頁 -
	本語の右細
掲載論又のDOT(テンタルオフシェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著者名 Sugawara Y, Otsuka S, Nakagawa S	
	4 . 巻
	44
ouganara i, cicana c, nanagana c	
0 AA-LIEUX	= 7V./= h=
2.論文標題	5 . 発行年
Effects of the sound transducer placements in cartilage-conduction on hearing threshold and	2021年
propagation process	
1 1 0 1	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology Annual Midwinter Meeting	95-96
	本社の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	••••
オープンアクセス	国際共著
	国际共 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S	44
2 . 論文標題	5.発行年
A study on basic characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds in the audible-	2021年
frequency range	
3.雑誌名 3.	6.最初と最後の頁
Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology Annual Midwinter Meeting	64
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーノファノ にへ いはない、 入はカーノファフ じ入が 四乗	<u>-</u>
1.著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Otsuka S, Junghun Noh, Nakagawa S	2021春号
Arayaan am, otsuka o, sanghan hon, nakayawa o	7V2 1 日 つ
A NEW TOTAL CONTROL OF THE PROPERTY OF THE PRO	
2.論文標題	5.発行年
Effects of placements on bone-conducted sound transmission by measurements of hearing	2021年
thresholds, ECSP and acceleration on the head	
	c ====================================
	6.最初と最後の頁
3.雜誌名 - 日本音響学会講演論文集	689-692
日本音響学会講演論文集	689-692
日本音響学会講演論文集	
日本音響学会講演論文集 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	689-692 査読の有無
日本音響学会講演論文集	689-692
日本音響学会講演論文集	689-692 査読の有無 無
日本音響学会講演論文集 日本音響学会講演論文集 日本音響学会講演論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	689-692 査読の有無
日本音響学会講演論文集	689-692 査読の有無 無
日本音響学会講演論文集 日本音響学会講演論文集 日本音響学会講演論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	689-692 査読の有無 無
日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	689-692 査読の有無 無 国際共著
日本音響学会講演論文集 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『	689-692 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
日本音響学会講演論文集 引載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	689-692 査読の有無 無 国際共著
日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	689-692 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
日本音響学会講演論文集 引載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司	を
日本音響学会講演論文集 B載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題	を
日本音響学会講演論文集	を
日本音響学会講演論文集 引載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題	を
日本音響学会講演論文集 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2.論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果	を
日本音響学会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2.論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果 3.雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2.論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果	を
日本音響学会講演論文集 引載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果 3 . 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1.著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2.論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果 3.雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 619-920
日本音響学会講演論文集 日本音響学会講演論文集	を
日本音響学会講演論文集 引載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 619-920
日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	を
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志 , 大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 619-920
日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	を

	4 244
1 . 著者名	4.巻
冨田繭子,大塚翔,中川誠司	2021春号
2 . 論文標題	5.発行年
骨伝導に伴う振動覚が聴覚に及ぼす影響の検討	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	51
口平日音子云舑决舑又来	31
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の大畑
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	·
1 . 著者名	4 . 巻
実川徹,大塚翔,中川誠司	2021春号
关川版, 人 场创,中川诚可	2021月9
2 於在時	F 25/-/-
2. 論文標題	5.発行年
軟骨伝導における押付呈示圧および耳介形状変化が聞こえに及ぼす影響	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	51-52
	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
	C Direct Lt +++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
南里聡志,信夫大志,大塚翔,中川誠司	2021春号
南土地心,自入八心,八小水湖,1 7 mg - 1	202.11 3
2 . 論文標題	5 . 発行年
頭皮上で検出される骨伝導音声の明瞭性に関する検討	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	123-124
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
' ⇔ ∪	***
+ 1.74+7	京 欧 井 荽
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4.巻
	4 . 공
	2021春号
1.著者名 土井公一朗,大塚翔, 中川誠司	
土井公一朗,大塚翔 , 中川誠司	2021春号
土井公一朗,大塚翔, 中川誠司 2.論文標題	2021春号 5 . 発行年
土井公一朗,大塚翔, 中川誠司	2021春号
土井公一朗,大塚翔 , 中川誠司2 . 論文標題遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討	2021春号 5 . 発行年 2021年
土井公一朗,大塚翔, 中川誠司2.論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討3.雑誌名	2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討	2021春号 5 . 発行年 2021年
土井公一朗,大塚翔, 中川誠司2.論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討3.雑誌名	2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
土井公一朗,大塚翔, 中川誠司 2 . 論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
土井公一朗,大塚翔, 中川誠司 2 . 論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討 3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
土井公一朗,大塚翔,中川誠司 2.論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討 3.雑誌名 日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 625-626
土井公一朗,大塚翔, 中川誠司 2. 論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討 3. 雑誌名 日本音響学会講演論文集	2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 625-626
土井公一朗,大塚翔,中川誠司 2.論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討 3.雑誌名 日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 625-626 査読の有無
土井公一朗,大塚翔,中川誠司 2. 論文標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討 3. 雑誌名 日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021春号 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 625-626 査読の有無

1.著者名	4.巻
菅原優聖,大塚翔,中川誠司	2021春号
TIME TO THE TOTAL	
2 24年福田	r 整仁左
2.論文標題	5.発行年
軟骨伝導における振動子呈示部位と末梢伝搬過程の関係	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	629-630
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4 0	***
オープンアクセス	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1 . 著者名	4.巻
石川大夢,大塚翔,中川誠司	2021春号
2 . 論文標題	5 . 発行年
- 1 間 ス 1 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	2021年
りもの人数サークラックをは出かれる中では、「一方の一方では、「一方の一方では、「」では、「一方では、「」をは、「」をは、「」をは、「」をは、「」をは、「」をは、「」をは、「」を	2021+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	627-628
#日#*^^ の201 / デンドカリ ナデンド カト ****ロフン	本註の左征
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
阿部理花子,大塚翔,中川誠司	2021春号
F100-2103 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	
2 - 50-2-145 時	5.発行年
2.論文標題	
報知音の協和感および音列パターンが警告感に及ぼす影響	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	
口平目普子云舑供誧乂朱	43-45
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	717
+	同 W + **
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	4 . 它
中川誠司	-
2.論文標題	5 . 発行年
- ・ 調点 スポルグ 聴覚バリアフリーと育児工学	2020年
10元ハンノノソ CRルエナ	2020-
0. 1844.0	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第59回日本生体医工学会大会抄録集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左征
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
土井 公一朗,石川 大夢 ,長谷 芳樹,星 貴之,中川 誠司	2021春号
2.論文標題	5.発行年
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定	2021年
マンドル たら スソス・守物 免徴 にソルにん	2021—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	
口本百窨子云誦洩論义集	-
相事込みのDOL / デジカリナデジ カーかのフン	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S	44
2 . 論文標題	5 . 発行年
Effects of Auricle Dimensions on Cartilage-conduction Perception Characteristics	2021年
2.1.0010 0. Adition Dimonotone on Continued Conduction Forception Unitable 181105	2021—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology Annual Midwinter Meeting	-
	+++ = +-+-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u> </u>
1 . 著者名	4 . 巻
Nakagawa S	-
nanagana C	
2.論文標題	5.発行年
	2021年
Elucidation of mechanisms of bone-conducted ultrasonic perception using non-invasive	20214
electrophysiological measurements	く 目知し目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Abstracts of the international Joint Meeting 2020 in Kansai	-
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
信夫大志,大塚翔,中川誠司	- · E
ᆸᄉᄉᄊᅝ,ᄉᅶᅔᆥᄳ,ᆍᄭᆸᄦᆈ	
2	F 交给工作
2 . 論文標題	5.発行年
強大騒音下でも使用可能な骨伝導 デバイスの開発に係る基礎検討 - 耳栓装用時の骨伝導音の伝搬・ 知覚	2020年
に及ぼす刺激呈示部位の効果 -	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第5回千葉大学GPシンポジウム資料集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
6 U	////
オーゴンマクセフ	国欧 什茎
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1.著者名	4.巻
土井公一朗,大塚翔 , 中川誠司	-
	F 361-F
2 . 論文標題	5 . 発行年
頸部および体幹に呈示された骨導超音波の知覚 ー音質改善の試みと音声伝達性能の解明ー	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第5回千葉大学GPシンポジウム資料集	-
カ○ロ 未八丁 ○ ノン 小ノ ノム 央 ↑ 1 未	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英老存	4 Y
1. 著者名	4 . 巻
中川誠司,Qin Xiuyuan,大塚翔	-
2.論文標題	5 . 発行年
骨伝導メカニズムの解明に基づく福祉機器群の開発	2020年
日は守いソーハムシがかりに全ノト軍軍隊配針やが元	2020 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第 18 回千葉大学医工学シンポジウム資料	-
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Doi K, Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S	
bor K, ogrilo K, otouka o, hakagawa o	
2.論文標題	5 . 発行年
Self-demodulation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasound in the human	2020年
body presented to the neck, trunk and arm	2020
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Journal of Applied Physics	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Supuliose Southar of Appriod Physics	

掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.35848/1347-4065/ab918d	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Otsuka S, Furukawa S, Nakagawa S	41
1	
2.論文標題	5 . 発行年
The relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-	2020年
reception performance 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Acoustical Science and Technology	404-407
ACOUSTICAL OCICIOS AND LECHNOLOGY	-104-40 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1250/ast.41.404	査読の有無 有
10.1250/ast.41.404	有

	A 244
1.著者名	4.巻
Otsuka S, Nakagawa S, Furukawa S	146
2.論文標題	5.発行年
Relationship between cochlear mechanics and speech-in-noise reception performance	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Journal of the Acoustical Society of America	EL 265-271
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>
10.1121/1.5125008	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Nakagawa S	4 . 巻
2.論文標題 Assessment of temporal resolution of bone-conducted ultrasonic hearing using neuromagnetic measurement	5.発行年 2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Acoustical Science and Technology	382-383
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1250/ast.41.382	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S	58
2 . 論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly	5 . 発行年 2019年
presented to the neck, trunk and arms	
3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6 . 最初と最後の頁 SGGE18:1-6
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.7567/1347-4065/ab1fdb/pdf	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Ogino R, Otsuka Sh, Nakagawa S	4.巻 58
Ogino R, Otsuka Sh, Nakagawa S	_
Ogino R, Otsuka Sh, Nakagawa S 2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound	58
Ogino R, Otsuka Sh, Nakagawa S 2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound	5 . 発行年
2. 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound 3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE12~SGGE12
Ogino R, Otsuka Sh, Nakagawa S 2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound 3 . 雑誌名	58 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁

4 英本47	
1 . 著者名	4.巻
Qin X, Otsuka S, Nakagawa S	41
2 *A-1707	5 7%/= fr
2 . 論文標題	5.発行年
Estimation on the influence of placement on bone conduction transmission by ear-canal sound	2020年
pressure	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Acoustical Science and Technology	384 ~ 385
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1250/ast.41.384	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Hotehama T, Kamiya M	-
ranagana 6, netonana 1, namiya n	
2.論文標題	5.発行年
	2019年
Psychoacoustical assessment of thermal impression of automotive HVAC noise	2019 T
고 싸삭 <i>호</i>	(見知し見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	6781-6786
	*++ o +-/**
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.18154/RWTH-CONV-239405	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	-
1 . 著者名	4 . 巻
Otsuka S, Nakagawa S, Furukawa S	-
2 . 論文標題	5.発行年
Effects of a preceding sound on medial olivocohlear bundle reflex as a function of the	2019年
	20194
preceding time interval 3.雑誌名	
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	6626-6629
月井公子の1001/デジカリナザジ カー地ロフン	大きの大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.18154/RWTH-CONV-239817	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	4 . 巻
	4 . 巻
1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa	4. 巻
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa	
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題	5 . 発行年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using	
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement	5.発行年 2019年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement	5.発行年 2019年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3 . 維誌名 Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6668-6669
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2. 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3. 雑誌名 Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 6668-6669 査読の有無
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3 . 雑誌名 Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6668-6669
2.論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3.雑誌名 Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-238951	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 6668-6669 査読の有無 有
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa 2. 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3. 雑誌名 Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 6668-6669 査読の有無

1.著者名	4 **
	4 . 巻
Jitsukawa T, Otsuka S, Nakagawa S	-
2 . 論文標題	C
	5 . 発行年
Effects of cartilage conduction vibrator placement in the pinna on the detection threshold and	2019年
the ear canal sound pressure	
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	6595-6597
-	
3#±56+-0001 / =*** 6	本生の大畑
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.18154/RWTH-CONV-239619	有
· ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. 著者名	4 . 巻
Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S	
ogino n, otouna o, nanagana o	
. 論文標題	5 . 発行年
Evaluation of Propagation Characteristics of Bone-conducted Ultrasound Presented to the Neck,	2019年
Trunk and Arm	2013 -1
· 維誌名	6 . 最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	6613-6615
載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.18154/RWTH-CONV-239509	有
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. 著者名	4 . 巻
Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
論文標題	5.発行年
Demodulation Characteristics in Propagation Process of Amplitude-modulated Bone-conducted	2019年
Ultrasound Presented to the Neck, Trunk and Arms	20134
Office and Arms 3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	6604-6606
** *** * *	6604-6606
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	6604-6606 査読の有無
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	査読の有無
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572	査読の有無
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572	査読の有無有
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無有
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 最載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 エープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無有
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	査読の有無 有 国際共著
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa 2.論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa 2.論文標題 Influence caused by placement of a bone- conducted vibrator on sound transmission.	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa コージンを表現している。 はいない。 はいないでは、 はいないでは、	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa . 論文標題 Influence caused by placement of a bone- conducted vibrator on sound transmission.	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa コージンを表現している。 はいない。 はいないでは、 はいないでは、	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 副載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa 2. 論文標題 Influence caused by placement of a bone- conducted vibrator on sound transmission. 3. 雑誌名 Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 副載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa 2. 論文標題 Influence caused by placement of a bone- conducted vibrator on sound transmission. 3. 雑誌名 Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6519-6522
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 園載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa 2. 論文標題 Influence caused by placement of a bone- conducted vibrator on sound transmission. 3. 雑誌名 Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics 司載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-238952	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6519-6522
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustics の表現論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無有国際共著-4.巻 5.発行年 2019年6.最初と最後の頁 6519-6522査読の有無

1 - 新山 - 大塚間 中川誠司	1 . 著者名	4 . 巻
2 . 論文権器 両側に遺位量示された骨薄経音波の時間差による頭内定位の検討 5 . 発行年 2019年 3 . 独結名 ロトを管学を会の19年秋季研究発表会護漢論文殊 6 . 最初と最後の頁 6 . 27-628 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 2019年 1 . 著名名 管原歴史、中川試司,大塚園 4 . 巻 - 2019年 3 . 雑誌名 日本高層学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 1 - 8-15 3 . 雑誌名 日本高層学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 1 - 8-15 4 . 巻 - 2 . 語文程題 現住送月時の骨后選替知覚/伝謝特性に及ぼす刺激显示部位の効果 4 . 巻 - 2 . 第2程題 日本高層学会2019年秋季研究発表会講演論文集 3 . 雑誌名 日本高層学会2019年秋季研究発表会講演論文集 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本高層学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 日本高層学会2019年秋季研究発表会講演論文集 1 . 著名名 Kityuan Qin, Sho Cisuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 4 . 巻 		4 . 술 _
両側に遠位呈示された骨導超音波の時間差による頭内定位の検討	11八分,八分70,个川城归	
両側に遠位呈示された骨導超音波の時間差による頭内定位の検討	2 ≒☆☆#車項	5 発行任
3 - 結試名 日本音響学会2019年秋季研究発表会議濟論文集		
日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集		20194
日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	2 NH 학교 선	6 早知と早後の百
据載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	口本盲響子会2019年秋学研究宪表会講演論又集	627-628
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	担動会立のDOL/ デジカルナイジェカ L 逆則ス \	本性の方無
コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 - 著名名 音原優壁、中川誠司,大塚翔 2 - 論文標題 軟件伝導の出力校正法を目指した聴覚網および頭部内伝機の計測 3 - 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 1 - 著名名 信夫方。大塚翔・中川誠司 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 - 著名名 信夫方。大塚翔,中川誠司 2 - 論文標題 月柱義用時の骨伝導音知覚/伝機特性に及ばす刺激呈示部位の効果 3 - 雑誌名 1 - 著名名 信夫方。大塚翔,中川誠司 2 - 論文標題 月柱義用時の骨伝導音知覚/伝機特性に及ばす刺激呈示部位の効果 3 - 雑誌名 3 - 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 4 - 巻 - 2019年 3 - 北西省響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 4 - 巻 - 2019年 3 - 北西省響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 4 - 巻 - 2019年 3 - 北西省響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 5 - 飛行年 2019年 3 - 北西省響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 1 - 著名名 Xivyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 1 - 著名名 Xivyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 2 - 論文標語 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with 1 - 第27-Dased vibrator. 3 - 藤超名 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with 2019年 2019	·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	40	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	+ = 1\17.17.17.17	
音原優型,中川誠司,大塚翔 - 2. 論文標題 軟骨伝導の出力校正法を目指した聴覚闘および頭部内伝搬の計測 5.発行年 2019年 3. 雑誌名 日本音響学会2019年秋学研究発表会講演論文集 6. 最初と最後の頁 1-R-16 掲載論文の001(デジタルオプジェクト識別子)なし 国際共著 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが函難 4.巻 信夫大志,大塚瑚,中川誠司 2. 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝機特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 5.発行年 2019年 3. 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6. 最初と最後の頁 - 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文の001(デジタルオプジェクト識別子)なし 国際共著 1. 萎者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Sei ji Nakagawa 4.巻 - 2019年 1. 萎者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Sei ji Nakagawa 4.巻 - 2019年 1. 菱者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Sei ji Nakagawa 5. 発行年 2019年 -	オーノンアクセスではない、又はオーノンアクセスが困難	-
音原優型,中川誠司,大塚翔 - 2. 論文標題 軟骨伝導の出力校正法を目指した聴覚闘および頭部内伝搬の計測 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 日本音響学会2019年秋学研究発表会講演論文集 6. 最初と最後の頁 1-R-16 掲載論文の001(デジタルオプジェクト識別子)なし 国際共著 オープンアクセス 国際共著 1. 著名名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 4. 整 - 2. 論文課題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝機特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6. 最初と最後の頁 - 掲載論文の001(デジタルオプジェクト識別子)なし 国際共著 1. 著名名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Sei ji Nakagawa 4. 整 - 1. 著名名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Sei ji Nakagawa 4. 整 - 2. 論文課題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a Price pased vibrator. 5. 発行年 2019年 3. 推誌石 Frequency Characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a Price pased vibrator. 5. 発行年 2019年 3. 推該石 The Frequency Characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a Price pased vibrator. 6. 最初と最後の頁 - 3. 推該石 The Frequency Characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a Price pased vibrator. 6. 最初と最後の頁 - 3. 推該石 The Frequency Characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a Price pased vibrator. 6. 最初と最初と最初と表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表	. ###	I
2 . 論文標題 軟骨伝導の出力校正法を目指した聴覚聞および頭部内伝搬の計測 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 1-R-15 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		4. 巻
軟骨伝導の出力校正法を目指した聴覚闘および頭部内伝搬の計測 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 1-R-15 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 重誘の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著書名 信夫大志 , 大塚翔, 中川誠司 4 . 巻 - 2 . 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝機特性に及ぼす刺激星示部位の効果 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 - 提製論文のD01 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著書名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Sei ji Nakagawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PT-based vibrator. 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文の0001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	管原優聖,中川誠司,大塚翔	-
軟骨伝導の出力校正法を目指した聴覚闘および頭部内伝搬の計測 2019年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 1-R-15 掲載論文の2019年秋季研究発表会講演論文集 国際共著 月載論文の2010(デジタルオプジェクト識別子)なし 国際共著 1.著者名 信夫大志 , 大塚翔 , 中川誠司 4.巻 2019年 2.論文標題 耳栓袋用時の骨伝導音知覚/伝機特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 5.発行年 2019年 3.雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6.最初と最後の頁 2019年 月載論文の2011(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 2019年 1.著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 4.巻 2019年		
3 ・雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集		
日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 1-R-15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝機特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 Xiuyuan Qin、Sho Otsuka、Junghun Noh、Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なより 温読の有無 エーブンアクセス 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なより 現象の質 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	軟骨伝導の出力校正法を目指した聴覚閾および頭部内伝搬の計測	2019年
日本音響学会2019年秋季研究発表会議演論文集 1-R-15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会議演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 Xiuyuan Qin、Sho Otsuka、Junghun Noh、Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なより は 大ーブンアクセス 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なより は 大ーブンアクセス 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なより は 大ーブンアクセス 関際共著		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
### オープンアクセス	日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	1-R-15
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 3 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 4 巻 2 論文を表している。 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 第載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著者名 Xiuyuan Qin,Sho Otsuka,Junghun Noh,Seiji Nakagawa 2 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 相対シアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
### オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 6 . 最初と環題 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 5 . 最初と最後の頁 5 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 7 . 本ープンアクセス まープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 . ■ 1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting	なし	無
### オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 6 . 最初と環題 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 5 . 最初と最後の頁 5 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 7 . 本ープンアクセス まープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 . ■ 1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting		
1. 著者名 信夫大志 , 大塚翔 , 中川誠司 4 . 巻 - ** 2 . 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 - ** 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 1 . 養者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 4 . 巻 - ** 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with PTC-based vibrator. 5 . 発行年 2019年 2019年 2019年 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 6 . 最初と最後の頁 - ** 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 信表音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 Xiuyuan Qin,Sho Otsuka, Junghun Noh,Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 直読の有無 は る。最初と最後の頁 を は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 信表音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 Xiuyuan Qin,Sho Otsuka, Junghun Noh,Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 直読の有無 は る。最初と最後の頁 を は の の の の の の の の の の の の の の の の の の		
信夫大志,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 信表音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 Xiuyuan Qin,Sho Otsuka, Junghun Noh,Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 直読の有無 は る。最初と最後の頁 を は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		_
耳柱装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 5 . 発行年 - 2019年 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	The state of the s	
耳柱装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果 2019年 3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 5 . 発行年 - 2019年 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	•	
日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	TEXTING OF IMPERIORS INTO TEXTING AND THE CONTROL OF THE CONTROL O	2010
日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	3 雑誌名	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1.著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 2.論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 5.発行年 2019年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 5.最初と最後の頁 5.最初と最後の頁 5.最初と最後の頁 5.最初と最後の頁 6.最初と最後の頁 6.最初と最後の頁 7.	口不自言于公2010年10人子则几元农公晤/XIII入未	
無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1.著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 2.論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting		
無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1.著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 2.論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
オープンアクセス		
### A - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 4 . 巻 -	74 U	***
### A - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 4 . 巻 -	オープンマクセフ	
1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 4 . 巻 -		国际六名
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa - 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 無 オープンアクセス 国際共著	カーフンテノ ヒヘ Cla ない、 入laカーフファフ ヒヘル 凶無	<u>-</u>
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa - 2 . 論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3 . 雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 無 オープンアクセス 国際共著	1 英名名	л У
2.論文標題 Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3.雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著		4. 登
Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3.雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	⊼iuyuan win, ∍no ∪tsuka, Jungnun non, seiji nakagawa	-
Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator. 3.雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 第一プンアクセス 国際共著	2.	r 38/-/-
a PZT-based vibrator. 3.雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし エープンアクセス 国際共著		
3.雑誌名 The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting 6.最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		2019年
The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし エープンアクセス 国際共著		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無		6.最初と最後の頁
まし 無 無	The Proceedings of ASJ 2019 Autumn Meeting	-
なし 無 オープンアクセス 国際共著		
なし 無 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	なし	無
	オープンアクセス	国際共著

. ***	4 24
1 . 著者名	4 . 巻
ヤップ・ゲック・シエン、大塚・翔,中川誠司	49
2. 論文標題	5 . 発行年
······	
軟骨伝導および骨伝導の基礎知覚特性の比較:検出閾,時間分解能,および周波数分解能	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	523-528
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> 査読の有無
なし	
<i>40</i>	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 菜老夕	4 . 巻
1.著者名	_
荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
遠位呈示された骨導音の知覚特性および伝搬特性の解明 - 超音波域と可聴周波数域の比較 -	2019年
~ こここのでは全日でいることでは、 C D NXXV C D MX N C D MX XV XV V V D T C D MX XV XV XV V D T C D MX XV XV V D T C D MX XV XV XV V D T C D MX XV XV XV V D T C D MX XV XV V D T C D MX XV XV XV V D T C D MX XV XV XV V D T C D MX XV	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	_
信夫大志,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
工・調文 (2019年
中性表用時の自仏等自和見付任"利威主小命位,问四報目レベル,のよび中性性類の効果"	2019-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	」 ・ 査読の有無
なし	無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Nakagawa S	
2 . 論文標題	5.発行年
Developments of Welfare Devices using Bone-conduction Based on Elucidation of Perception	2019年
Mechan i sms	C 8471 8/4 6 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-	56-57
Medical and Healthcare Application (IS 3T-in-3A)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
な し	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2.論文標題	5 . 発行年
Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and	2019年
Frequency Resolutions	2019-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-	80
Medical and Healthcare Application (IS 3T-in-3A)	00
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	4 . 仓
Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2 . 論文標題	5.発行年
Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation	2019年
characteristics in the human body -	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-	79
Medical and Healthcare Application (IS 3T-in-3A)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	上 ・ 査読の有無
なし	無
	AW.
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
菅原優聖,中川誠司,大塚翔 	-
2.論文標題	5.発行年
軟骨伝導の呈示部位が聴覚閾および頭部加速度に及ぼす影響	2019年
秋月以待の主小中世が物見劇のより頭中加及反に次はすが音	2019-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 │ 査読の有無
なし	無
<i>4</i> ∪	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ##/ <i>D</i>	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
1 . 著者名	4 . 巻
石川大夢,大塚翔,中川誠司	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
2. 調え信題 両側に遠位呈示された骨導超音波による頭内定位の検討	2019年
門別に及び土小で10に月寺旭日次による駅内を世の代記	2019 11
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
TO TO THE STATE OF	1

	1
1.著者名	4.巻
土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔, 中川 誠司	49
2 . 論文標題	5 . 発行年
遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	505-510
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
3 プラップ これではない、人は3 プラップ これが 四衆	
1 . 著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Ishikawa H, Ogino R, Doi K, Otsuka S	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Assessments of propagation of bone-conducted ultrasound presented to the arm using laser- Doppler vibrometry	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceeding of the 40th Symposium on Ultrasonic Electronics (USE2019)	-
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 .著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	4.巻 -
2.論文標題	г <u>ж</u> /=/ш
2 · 論及行录程 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arms	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceeding of the 40th Symposium on Ultrasonic Electronics (USE2019)	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	-
2.論文標題	5 . 発行年
Propagation and perception characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds - Comparison between ultrasonic and low-frequency ranges-	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceeding of the 40th Symposium on UltraSonic Electronics (USE2019)	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
ヤップ ゲック シエン,大塚 翔,中川誠司	-
	5 38/-75
2.論文標題	5.発行年
耳介のサイズ・形状が軟骨伝導知覚の検出闘特性に及ぼす影響	2020年
2 hA±+47	こ 見知は見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
2020年日本音響学会春季研究発表会講演論文集	43
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
'& U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u>.</u>
1.著者名	4 . 巻
荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司	-

2.論文標題	5.発行年
遠位呈示骨導音の周波数に依存した知覚特性の変化	2020年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
2020年日本音響学会春季研究発表会講演論文集	1-Q-16

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
± ±, 7, 7, 5, 4, 7	同數十苯
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔, 中川 誠司	-
2 . 論文標題	5.発行年
遠位呈示AM骨導起音波の周波数弁別閾および単音節明瞭度・単語了解度	2020年
	20204
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
2020年日本音響学会春季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オーブンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	
	4.巻
菅原優聖,中川誠司,大塚翔	-
2.論文標題	5 . 発行年
骨伝導スマートホンの出力校正法の構築を目指した知覚閾および頭部内伝搬過程の計測	2020年
3 . 雑誌名	 6.最初と最後の頁
2020年日本音響学会春季研究発表会講演論文集	1-Q-11
2020个日华日普宁公安子则 几元化公明/决배人朱	1-4-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
クラファラビスではない、人はカーフラック EAN 西舞	

1.著者名	4 . 巻
信夫大志,大塚翔,中川誠司	-
IDVOVO-7700037 THIEW 3	
2 - 6公子/环环	F 76/-/-
2.論文標題	5.発行年
耳栓装用時の骨伝導音知覚に及ぼす刺激呈示部位および周囲騒音レベルの効果	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
2020年日本音響学会春季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u>. </u>
1 . 著者名	4 . 巻
	_
石川大夢,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5 . 発行年
本・順人は返 両側に遠位呈示された骨導超音波による頭内定位 - 時間差及び強度差の影響 -	2020年
	2020 11
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
2020年日本音響学会春季研究発表会講演論文集	-
	+++ - + m
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	日际八名
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	
Arayuan kin, ono otsuka, ociji nakagawa	
A A NEWS	_ 70 /= -
2.論文標題	5 . 発行年
Effects of placements on bone-conducted sound transmission by measurements of hearing	2020年
thresholds, ECSP and acceleration on the head	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁

The Proc. of ASJ 2020 Spring Meeting	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	i
オープンアクセス	国際共著
	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4.巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題	4 . 巻 - 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between	4.巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges-	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名 The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical &	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名 The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical & Healthcare Applications(IS 3T in 3A 2019)	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 81
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名 The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical &	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名 The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical & Healthcare Applications(IS 3T in 3A 2019) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 81
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名 The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical & Healthcare Applications(IS 3T in 3A 2019)	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 81
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名 The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical & Healthcare Applications(IS 3T in 3A 2019) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 81 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges- 3 . 雑誌名 The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical & Healthcare Applications(IS 3T in 3A 2019) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 81

1.著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Influence of placement on bone-conducted transmission -Measurements of hearing threshold and	2019年
ear-canal sound pressure-	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Proc. of the Auditory Research Meeting	-
,	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
4. O	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2.論文標題	5 . 発行年
The discussion on the influence of different materials of earplugs in BC measurements.	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	-
Abstracts of the Association for Research in Storaryingeregy 45th Almbar withinter weeting	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	-
og, cooling of the agents of	
2.論文標題	5.発行年
Comparison of Perception Characteristics of Distantly-presented Bone-conducted Sounds between	2020年
Ultrasonic and Low-frequency Ranges	2020—
	6 見知に見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
40	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	43
· , · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2.論文標題	5 . 発行年
Perceptual characteristics of bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk, and arms	2020年
reroeptuar onaracteristros di pone-conducted diffasound presented to the neck, flunk, and alms	2020 11
Effect of self-demodulation in the human body	6 早知レ早後の百
Effect of self-demodulation in the human body 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Effect of self-demodulation in the human body	6.最初と最後の頁 379
Effect of self-demodulation in the human body 3.雑誌名 Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	
Effect of self-demodulation in the human body 3.雑誌名	
Effect of self-demodulation in the human body 3. 雑誌名 Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	379 査読の有無
Effect of self-demodulation in the human body 3. 雑誌名 Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	379
Effect of self-demodulation in the human body 3. 雑誌名 Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	379 査読の有無
Effect of self-demodulation in the human body 3.雑誌名 Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	379 査読の有無 無

1. 著者名	4 . 巻
Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S	-
2.論文標題	5.発行年
Effect of the vibrator placement on perception and propagation of bone-conducted sound during	2020年
earplugging	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

〔学会発表〕 計248件(うち招待講演 15件/うち国際学会 75件)

1 . 発表者名

Ishizaka Y, Nakagawa S, Otsuka S

2 . 発表標題

Effect of Rhythm-based Prediction on Medial Olivocochlear Reflex and Delta Oscillations

3.学会等名

Acoustics in Focus, 180th Meeting of the Acoustical Society of America (国際学会)

4 . 発表年 2021年

1.発表者名

Nanri S, Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Intelligibility of bone-conduction speech detected on the scalp

3 . 学会等名

50th International Congress and Exposition on Noise Control Engineering (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Evaluation of Bone-Conducted Cross-Talk Sound in the Head for Biometric Identification

3.学会等名

IC3INA 2021: The 2021 International Conference on Computer, Control, Informatics and Its Applications(国際学会)

4.発表年

1.発表者名 Nakagawa S, Doi K, Otsuka S
2.発表標題 Characteristics of speech perception by distantly-presented bone-conducted ultrasound
3.学会等名 The 42nd Symposium on UltraSonic Electronics(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Nagatani Y, Ishikawa H, Hoshi T, Nakagawa S
2. 発表標題 A Preliminary Study of Pitch Matching between 40-kHz Air-conducted Ultrasonic Wave and Air-conducted Audible Sound
3.学会等名 The 42nd Symposium on UltraSonic Electronics(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S
2. 発表標題 Basic perceptual characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds: Threshold and frequency- and temporal
3.学会等名 The 42nd Symposium on UltraSonic Electronics(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S
2. 発表標題 Basic properties of distantly-presented bone-conduction perception
3.学会等名 The 43rd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

4 . 発表年 2021年

1.発表者名

Sugawara Y, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Estimation of relationships between transducer placements and peripheral propagation in cartilage conduction

3.学会等名

The 43rd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (国際学会)

4 . 発表年

2021年

1.発表者名

Saito S, Otsuka S, Zenbutsu S, Hori S, Honda M, Nakagawa S

2 . 発表標題

Generation mechanisms of bowel sounds by simultaneous measurements of X-ray fluoroscopy and bowel sounds

3.学会等名

The 43rd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Nanri S, Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Intelligibility of bone-conducted speech detected on the scalp assessed by mono-syllable articulation and speech transmission index

3 . 学会等名

The 43rd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Nakagawa S, Doi K, Otsuka S

2 . 発表標題

Characteristics of speech perception by distantly-presented bone-conducted ultrasound assessed by phonetic-feature transmission analysis

3 . 学会等名

Neuroscience 2021 (国際学会)

4 . 発表年

4	ジェナク
1	华表石名

Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Characteristics of speech transmission of distantly-presented bone-conducted sounds in the audible-frequency range

3.学会等名

Neuroscience 2021 (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Sugawara Y, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Relationships between transducer placements and peripheral propagation of the cartilage-conduction assessed by hearing hreshold with water injection into the ear canal

3 . 学会等名

Neuroscience 2021 (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Saikan S, Nakagawa S, Otsuka S

2 . 発表標題

Brain oscillations during degraded speech perception based on prior and acoustic information

3 . 学会等名

Neuroscience 2021 (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Nakagawa S, Doi K, Otsuka S

2 . 発表標題

Speech perception by distantly-presented bone-conducted ultrasound: Assessments by a monosyllable articulation test and phonetic-feature transmission analyses

3 . 学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 45th Annual Midwinter Meeting(国際学会)

4.発表年

1 . 発表者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S
2 . 発表標題 Development of Acoustically Optimized, 3D-Printed Stethoscope for Telehealth
3 . 学会等名 2022 IEEE 4th Global Conference on Life Sciences and Technologies (LifeTech)(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 中川誠司
2 . 発表標題 乳幼児期における聴覚バリアフリー技術
3 . 学会等名 第60回日本生体医工学会大会・第36回日本生体磁気学会合同大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司
2. 発表標題 A study on the cartilage conduction mechanisms depending on transducer placements based on hearing and vibration propagation in the periphery
3 . 学会等名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Irwansyah, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2 . 発表標題 Two Ears Are Better Than One: Towards the Development of Crosstalk Cancellation System Based on Bone Conduction
3 . 学会等名 MCRC-CFME 研究交流会
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Qin X, Otsuka S, Nakagawa S
2 . 発表標題 Cartilage conduction applied on a smartphone – Measurements of hearing threshold and ear-canal sound pressure
3 . 学会等名
MCRC-CFME 研究交流会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 遠位呈示された骨伝導音による音声伝達性能の検討
3 . 学会等名 日本音響学会2021年秋季研究発表会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 振動子呈示部位が軟骨伝導知覚に及ぼす影響 -外耳道注水条件下における検討-
3 . 学会等名 日本音響学会2021年秋季研究発表会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 南里聡志,信夫大志,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 頭皮上で検出される骨伝導音声の明瞭性の評価:話者性別の影響
3 . 学会等名 日本音響学会2021年秋季研究発表会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 美和あす華 , 大塚翔 , 中川誠司
2 . 発表標題 顔面に呈示した骨伝導音による耳栓効果
2 24 4 77 77
3.学会等名 日本音響学会2021年秋季研究発表会
4.発表年
2021年
1.発表者名 上村 昂,大塚 翔,中川誠司
2.発表標題
顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の検出閾計測
3.学会等名
日本音響学会2021年秋季研究発表会
4.発表年
2021年
1.発表者名 中川誠司,大塚翔
2、 艾 士 4 括 日 古
2 . 発表標題 心理・生理データを用いたサウンドデザイン
3.学会等名
第19 回千葉大学医工学シンポジウム「みなで寄りそい,まもる医療・ケア」
4 . 発表年
2021年
1.発表者名 Xiuyuan Qin, Otsuka S, Nakagawa S
2. 艾丰福晤
2 . 発表標題 Cartilage conduction applied on a smartphone - Measurements of hearing threshold and ear-canal sound pressure
3 . 学会等名 第19 回千葉大学医工学シンポジウム「みなで寄りそい,まもる医療・ケア」
4.発表年 2021年

1.発表者名
I rwansyah, Otsuka S, Nakagawa S
The state of the s
2. び主持限
2.発表標題 Development of 3D-Printed Stethoscope Connected to Smartphone
Development of 3D-Printed Stethoscope Connected to Smartphone
3 . 学会等名
第19 回千葉大学医工学シンポジウム「みなで寄りそい,まもる医療・ケア」
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
「. 光衣有石 石川大夢,大塚翔,中川誠司
日川八岁,八冬水が,下川鳴門
2 . 発表標題
首や体幹に呈示された可聴帯域における骨伝導音の基礎知覚特性
3 · 子云守石 第19 回千葉大学医工学シンポジウム「みなで寄りそい,まもる医療・ケア」
カル ロー木八丁位エナノノがノ ノム 「がなく可り(い)、み U D 位派・ソブ
4.発表年
2021年
·
1.発表者名
菅原優聖,大塚翔,中川誠司
2.発表標題
2 · 光状保险
STATE OF THE STATE
3 . 学会等名
第19 回千葉大学医工学シンポジウム「みなで寄りそい,まもる医療・ケア」
4 . 発表年 2021年
2021—
1.発表者名
10-10-10-10-10-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
2.発表標題
ヘルメット型骨伝導インターフェース開発を目指した頭皮上で検出される骨伝導音声の明瞭性評価
3 · 7 △ 7 ロ 第19 回千葉大学医工学シンポジウム「みなで寄りそい,まもる医療・ケア」
4 . 発表年
2021年

1.発表者名 石川大夢,土井公一朗,長谷芳樹,星貴之,中川誠司
2 . 発表標題 40 kHz 空中超音波の聴覚閾
3 . 学会等名 日本音響学会2021年聴覚研究会ビギナーズセッション
4.発表年 2021年
1.発表者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 顔面部位への骨伝導における耳栓効果の検討
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2021
4 . 発表年 2021年
1. 発表者名 上村 昂, 大塚 翔, 中川誠司
2.発表標題 顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の知覚および伝搬特性の解明
3 . 学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2021
4 . 発表年 2021年
1.発表者名中川誠司
2.発表標題 聴覚科学と音響工学に基づく人間福祉医工学
3. 学会等名 2021年度 (株)ニチオン 全体会議講演会
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Xiuyuan Qin, Otsuka S, Nakagawa S
2. 発表標題 Estimation on frequency characteristics of behind-the-ear cartilage conduction by hearing threshold, ECSP and acceleration measurements
3 . 学会等名 日本音響学会2022年春季研究発表会
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 Irwansyah, Otsuka S, Nakagawa S
2 . 発表標題 Measurement of Tone Reception Thresholds With and Without Bone-Conduction-Based Crosstalk Cancellation
3 . 学会等名 日本音響学会2022年春季研究発表会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 両側に遠位呈示された可聴帯域の骨伝導音による頭内定位
3 . 学会等名 日本音響学会2022年春季研究発表会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 振動子呈示部位の変化に伴う軟骨伝導伝搬成分比の推定
3 . 学会等名 日本音響学会2022年春季研究発表会
4 . 発表年 2022年

1.発表者名 南里聡志,信夫大志,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 頭皮上で検出される骨伝導音声の明瞭性:マイクロホンの感度の影響
3.学会等名
日本音響学会2022年春季研究発表会 4.発表年
2022年
1.発表者名 美和あす華,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 顔面部位への骨伝導における耳栓効果:頭部構造の影響の検討
3 . 学会等名 日本音響学会2022年春季研究発表会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 上村 昂,大塚 翔,中川誠司
2.発表標題
顔面頭蓋に呈示された骨伝導音の伝搬特性:外耳道内音圧および頭部振動による評価
3 . 学会等名 日本音響学会2022年春季研究発表会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名
中川誠司,Qin Xiuyuan,大塚翔
2.発表標題
骨伝導メカニズムの解明に基づく福祉機器群の開発
3 . 学会等名 第 18 回千葉大学医工学シンポジウム
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 土井公一朗,大塚翔, 中川誠司
2 . 発表標題 頸部および体幹に呈示された骨導超音波の知覚 一音質改善の試みと音声伝達性能の解明ー
3 . 学会等名 第5回千葉大学GPシンポジウム
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 強大騒音下でも使用可能な骨伝導 デバイスの開発に係る基礎検討 - 耳栓装用時の骨伝導音の伝搬・ 知覚に及ぼす刺激呈示部位の効果 -
3 . 学会等名 第5回千葉大学GPシンポジウム
4.発表年 2020年
1.発表者名 中川誠司
2 . 発表標題 骨導超音波知覚のメカニズムと安全性
3 . 学会等名 第3回空中超音波の計測規格に関するStudy Group(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 中川誠司
2 . 発表標題 非侵襲的手法を用いたヒト聴覚メカニズムの解明と人間福祉医工学への応用
3 . 学会等名 新化学技術推進協会ライフサイエンス技術部会脳科学分科会講演会(招待講演)
4 . 発表年 2020年

1.発表者名
中川誠司
2.発表標題
2 · 光衣信題 聴覚バリアフリーと育児工学
応見パリア フリー C 月ルエチ
3 . 学会等名
第59回日本生体医工学会大会(招待講演)
4.発表年
2020年
1.発表者名
Nakagawa S
2.発表標題
Assessments of basic properties of distantly-presented ultrasound bone-conducted ultrasonic hearing by psychophysical
measurement
3 . 学会等名
The 42nd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)
. When the
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
1.光·2015 土井 公一朗,石川 大夢 ,長谷 芳樹,星 貴之,中川 誠司
上开 公 财,4川 入夕 ,攻在 万倒,生 县之,千川 贼4
2. 水丰栖田
2 . 発表標題
2 . 発表標題 40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S 2 . 発表標題 Effects of Auricle Dimensions on Cartilage-conduction Perception Characteristics
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S 2 . 発表標題 Effects of Auricle Dimensions on Cartilage-conduction Perception Characteristics 3 . 学会等名
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S 2 . 発表標題 Effects of Auricle Dimensions on Cartilage-conduction Perception Characteristics
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S 2 . 発表標題 Effects of Auricle Dimensions on Cartilage-conduction Perception Characteristics 3 . 学会等名 The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting(国際学会)
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S 2 . 発表標題 Effects of Auricle Dimensions on Cartilage-conduction Perception Characteristics 3 . 学会等名 The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting (国際学会) 4 . 発表年
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S 2 . 発表標題 Effects of Auricle Dimensions on Cartilage-conduction Perception Characteristics 3 . 学会等名 The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting(国際学会)
40 kHz 超音波の気導聴覚閾値の推定 3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Nakagawa S, Yap GS, Otsuka S 2 . 発表標題 Effects of Auricle Dimensions on Cartilage-conduction Perception Characteristics 3 . 学会等名 The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting (国際学会) 4 . 発表年

1	発表者名	

Nakagawa S

2 . 発表標題

Elucidation of mechanisms of bone-conducted ultrasonic perception using non-invasive electrophysiological measurements

3.学会等名

The international Joint Meeting 2020 in Kansai (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Doi K, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Assessment of the difference limens for frequency, monosyllable articulation and word intelligibility by distantly-presented bone-conducted ultrasound

3. 学会等名

The 42nd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Sugawara Y, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Estimation of hearing threshold and propagation process in the head for the development of an tput calibration method for cartilage-conduction

3 . 学会等名

The 42nd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Effect of interlateral time and intensity differences of distantly-presented bone-conducted ultrasound on lateralization

3 . 学会等名

The 42nd Annual International Conferences of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

4.発表年

4	ジェナク
1	华表石名

Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Effects of vibrator placement and ambient noise on perception of bone-conducted sound during earplugging

3.学会等名

The 49th International Congress and Exposition on Noise Control Engineering (国際学会)

4 . 発表年

2020年

1.発表者名

Otsuka S, Nakagawa S, Furukawa S

2.発表標題

Effect of Probability of Stimulus Occurrence on Medial Olivocochlear Bundle Reflex

3. 学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Xiuyuan Qin, Shinobu T, Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Discussion on the Influence from Materials of Earplugs in Bone Conduction by Hearing Threshold and ECSP Measurements

3.学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Doi K, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Perceptual characteristics of bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk, and arms; Estimations of word intelligibility, monosyllable articulation, and phonetic-feature transmission characteristics

3.学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting(国際学会)

4.発表年

1		発 表字2	
	•	$\pi u = u$	

Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Effect of the Vibrator Placement on Perception of Bone-Conducted Sound During Earplugging: Comparison of Monosyllable Articulation

3.学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Sugawara Y, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Effects of the sound transducer placements in cartilage-conduction on hearing threshold and propagation process

3 . 学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Ishikawa H, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

A study on basic characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds in the audible-frequency range

3 . 学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 44th Annual Midwinter Meeting (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Xiuyuan Qin, Otsuka S, Junghun Noh, Nakagawa S

2 . 発表標題

Discussion on cartilage conduction applied on mobile phones by measuring ear-canal sound pressure

3.学会等名

日本音響学会2020年秋季研究発表会

4.発表年

1.発表者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔, 中川誠司
2 . 発表標題 遠位呈示AM骨導超音波の単音節明瞭度・単語了解度と調音素性情報伝達特性の分析
N. J. De Co.
3 . 学会等名 日本音響学会2020年秋季研究発表会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 実川徹,大塚翔,中川誠司
2. 艾丰福晤
2 . 発表標題 耳介への押付呈示圧が軟骨伝導知覚に与える影響
3 . 学会等名 日本音響学会2020年秋季研究発表会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚に及ぼす刺激呈示部位の効果:単音節明瞭度の比較
3 . 学会等名 日本音響学会2020年秋季研究発表会
4.発表年 2020年
1.発表者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 軟骨伝導における呈示部位と聴覚閾における外耳道内音圧の関係
3 . 学会等名 日本音響学会2020年秋季研究発表会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨導音の基礎知覚特性の検討
3.学会等名 日本音響学会2020年秋季研究発表会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 可聴周波数帯における遠位呈示骨伝導音の基礎知覚特性
3 . 学会等名 日本音響学会2020年聴覚研究会ビギナーズセッション
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 大塚翔,中川誠司,古川茂人
2 . 発表標題 刺激音の出現確率に基づく予期が蝸牛遠心性神経の活動に与える影響
3 . 学会等名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2020
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 土井公一朗,大塚翔, 中川誠司
2 . 発表標題 頚部および体幹に呈示した骨導超音波による音声伝達特性 -単語了解度・単音節明瞭度と調音素性解析による評価-
3 . 学会等名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2020
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 強大騒音下でも使用可能な骨伝導デバイスの開発に係る基礎検討 -耳栓装用時の骨伝導音の伝搬・ 知覚に及ぼす刺激呈示部位の効果-
3 . 学会等名 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2020
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 富田繭子,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 振動覚が骨伝導知覚に及ぼす影響の検討
3 . 学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2020
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 南里聡志,信夫大志,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 頭皮上に設置した骨伝導マイクロホンの音声明瞭度
3 . 学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2020
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Xiuyuan Qin, Otsuka S, Junghun Noh, Nakagawa S
2.発表標題 Effects of placements on bone-conducted sound transmission by measurements of hearing thresholds, ECSP and acceleration on the head
3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 南里聡志,信夫大志,大塚翔,中川誠司
Ħᆂ物心,旧人八心,八岁吻,T川峨믹
2 . 発表標題
頭皮上で検出される骨伝導音声の明瞭性に関する検討
3 . 学会等名 日本音響学会2021年春季研究発表会
4 . 発表年
2021年
1.発表者名 実川徹,大塚翔,中川誠司
2.発表標題
軟骨伝導における押付呈示圧および耳介形状変化が聞こえに及ぼす影響
3.学会等名
3 · 子云寺台 日本音響学会2021年春季研究発表会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 土井公一朗,大塚翔, 中川誠司
2 . 発表標題 遠位呈示骨導音の体内伝搬過程における周波数特性の検討
度位主小月寺日のM-131四版過往にのける内/成数行注の1×8.3
3.学会等名
日本音響学会2021年春季研究発表会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名
富田繭子,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 骨伝導に伴う振動覚が聴覚に及ぼす影響の検討
3.学会等名
日本音響学会2021年春季研究発表会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名
信夫大志,大塚翔,中川誠司
2. 水土麻 四
2.発表標題
頭皮上に呈示した骨伝導音知覚に及ぼす耳栓装用の効果
3.学会等名
日本音響学会2021年春季研究発表会
A 1 B 3 A 2 2 2 1 B 3 NO NO KA
4.発表年
2021年
1.発表者名
菅原優聖,大塚翔,中川誠司
2. 水土麻 四
2.発表標題
軟骨伝導における振動子呈示部位と末梢伝搬過程の関係
3.学会等名
日本音響学会2021年春季研究発表会
4.発表年
2021年
1.発表者名
石川大夢,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題
可聴周波数帯における遠位呈示骨伝導音の知覚特性 - 時間分解能の検討 -
3.学会等名
日本音響学会2021年春季研究発表会
ᆸᆍᆸᇀᆂᇧᄼᆇᆛᆍᅤᆍᄢᆡᇪᄍᅑᇧ
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
Nakagawa S
2.発表標題
Assessments of propagation of bone-conducted ultrasound presented to the arm using laser-Doppler vibrometry
3.学会等名
3 . 字云寺石 The 40th Symposium on Ultrasonic Electronics(国際学会)
THE 40th Symposium on Ortrasonic Electronics (国际子云)
4 . 発表年
2019年
2010 1

1.発表者名 Nakagawa S
nunagana o
2.発表標題
Developments of Welfare Devices using Bone-conduction Based on Elucidation of Perception Mechanisms
3 . 学会等名
2019 International Symposium on Info Comn and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare Application(招待講演) (国際学会)
- (国际子云 <i>)</i> - 4.発表年
2019年
1.発表者名 ヤップ ゲック シエン,大塚 翔,湯本真人,中川誠司
2.発表標題
ミスマッチ・フィールドによる軟骨伝導知覚の周波数分解能特性の検討
3 . 学会等名
第34回日本生体磁気学会大会日本生体磁気学会
2019年
1. 発表者名
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa
2.発表標題
Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with a PZT-based vibrator.
3.学会等名
ASJ 2019 Autumn Meeting
4 · 光农中 2019年
1.発表者名
信夫大志,大塚翔,中川誠司
2
2 . 発表標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果
Companies in a final residence internal in the contraction of the cont
3.学会等名
日本音響学会2019年秋季研究発表会
4
4.発表年 2019年
· · ·

1.発表者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司
2.発表標題 両側に遠位呈示された骨導超音波の時間差による頭内定位の検討
3. 学会等名 日本音響学会2019年秋季研究発表会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 菅原優聖,大塚翔,中川誠司
2.発表標題 軟骨伝導の出力校正法を目指した聴覚閾および頭部内伝搬の計測
3. 学会等名 日本音響学会2019年秋季研究発表会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2.発表標題 Influence caused by placement of a bone- conducted vibrator on sound transmission.
3.学会等名 The 23rd International Congress on Acoustics, Sep. 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa
2.発表標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological measurement
3.学会等名 The 23rd International Congress on Acoustics, Sep. 2019 (国際学会)

1.発表者名

Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa

2 . 発表標題

Demodulation Characteristics in Propagation Process of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound Presented to the Neck, Trunk and Arms

3.学会等名

The 23rd International ConDemodulation Characteristics in Propagation Process of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound Presented to the Neck, Trunk and Armsgress on Acoustics, Sep. 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Jitsukawa T, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Effects of cartilage conduction vibrator placement in the pinna on the detection threshold and the ear canal sound pressure

3.学会等名

The 23rd International Congress on Acoustics, Sep. 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S

2.発表標題

Evaluation of Propagation Characteristics of Boneconducted Ultrasound Presented to the Neck, Trunk and Arms

3.学会等名

The 23rd International Congress on Acoustics, Sep. 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between ultrasonic and low-frequency ranges-

3.学会等名

The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical & Healthcare Applications(IS 3T in 3A 2019)(国際学会)

4 . 発表年

1.発表者名 荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司
2.発表標題 上肢,体幹,頸部に呈示された骨導超音波 -基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討-
3 . 学会等名 第1回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹リーディング育成研究プログラム先進的骨伝導コミュニケーションシンポジウム
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2 . 発表標題 Influence of placement on bone-conducted transmission -Measurements of hearing threshold and ear-canal sound pressure-
3.学会等名 The Auditory Research Meeting
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2. 発表標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions
3. 学会等名 2019 International Symposium on Info Comn and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare Application(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名

Ishizaka Y, Nakagawa S, Otsuka S

2 . 発表標題

Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex

3 . 学会等名

2019 International Symposium on Info Comn and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare Application (国際学会)

1.発表者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2.発表標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation characteristics in the human body -
3.学会等名 2019 International Symposium on Info Comn and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare Application(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 A. Onishi, S. Nakagawa
2.発表標題 Within- and Between-Subject Classification of the Affective Auditory P300-based Brain-Computer Interface
3.学会等名 2019 International Symposium on Info Comn and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare Application(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 中川誠司,Qin Xiuyuan,大塚翔,荻野利基,Yap Gaik Sean,土井公一朗,実川徹,信夫大志
2.発表標題 骨伝導メカニズムの解明に基づく福祉機器群の開発
3.学会等名 第16回千葉大学医工学シンポジウム
4.発表年 2019年
1.発表者名 ヤップ ゲック シエン,大塚 翔,中川誠司
2 . 発表標題 軟骨伝導および骨伝導の基礎知覚特性の比較:検出閾,時間分解能,および周波数分解能
3.学会等名 2019年11月度日本音響学会聴覚研究会

1.発表者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -
3.学会等名 2019年11月度日本音響学会聴覚研究会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚特性 -刺激呈示部位 , 周囲騒音レベル , および耳栓種類の効果-
3.学会等名 2019年11月度日本音響学会聴覚研究会
4. 発表年 2019年
1.発表者名 荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 遠位呈示された骨導音の知覚特性および伝搬特性の解明 - 超音波域と可聴周波数域の比較 -
3.学会等名 2019年11月度日本音響学会聴覚研究会
4.発表年 2019年
1.発表者名
Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2.発表標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arms

3 . 学会等名

4 . 発表年 2019年

The 40th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)

1.発表者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S
2. 発表標題 Propagation and perception characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds - Comparison between ultrasonic and low-frequency ranges-
3.学会等名 The 40th Symposium on Ultrasonic Electronics(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司
2.発表標題 両側に遠位呈示された骨導超音波による頭内定位の検討
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会2019
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 菅原優聖,中川誠司,大塚翔
2 . 発表標題 軟骨伝導の呈示部位が聴覚閾および頭部加速度に及ぼす影響
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部 若手研究者発表会2019
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 頸部および体幹に呈示された骨導音の知覚 -超音波と可聴周波数音の比較-
3 . 学会等名 第4回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム

1	双丰业夕
	平大石石

Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa

2 . 発表標題

The discussion on the influence of different materials of earplugs in BC measurements.

3.学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 43 rd Annual MidWinter Meeting (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa

2 . 発表標題

Perceptual characteristics of bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk, and arms Effect of self-demodulation in the human body

3.学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 43 rd Annual MidWinter Meeting (国際学会)

4 . 発表年

2020年

1.発表者名

Ishizaka Y, Nakagawa S, Otsuka S

2 . 発表標題

Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex

3.学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 43 rd Annual MidWinter Meeting (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Effect of the vibrator placement on perception and propagation of bone-conducted sound during earplugging

3.学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 43 rd Annual MidWinter Meeting (国際学会)

4 . 発表年

_	7V. +	+ 4
- 1	4年天	~~~

Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S

2 . 発表標題

Comparison of Perception Characteristics of Distantly-presented Bone-conducted Sounds between Ultrasonic and Low-frequency Ranges

3.学会等名

The Association for Research in Otolaryngology 43 rd Annual MidWinter Meeting (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa

2 . 発表標題

Effects of placements on bone-conducted sound transmission by measurements of hearing thresholds, ECSP and acceleration on the head

3.学会等名

ASJ 2020 Spring Meeting

4.発表年

2020年

1.発表者名

ヤップ ゲック シエン,大塚 翔,中川誠司

2 . 発表標題

耳介のサイズ・形状が軟骨伝導知覚の検出閾特性に及ぼす影響

3 . 学会等名

日本音響学会2020年春季研究発表会

4.発表年

2020年

1.発表者名

土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔, 中川 誠司

2.発表標題

遠位呈示AM骨導超音波の周波数弁別閾および単音節明瞭度・単語了解度

3 . 学会等名

日本音響学会2020年春季研究発表会

4 . 発表年

1.発表者名 信夫大志,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 耳栓装用時の骨伝導音知覚に 及ぼす刺激呈示部位および 周囲騒音レベルの効果
3.学会等名 日本音響学会2020年春季研究発表会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 両側に遠位呈示された骨導超音波による頭内定位 - 時間差及び強度差の影響 -
3 . 学会等名 日本音響学会2020年春季研究発表会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 菅原優聖,中川誠司,大塚翔
2 . 発表標題 骨伝導スマートホンの出力校正法 の構築を目指した知覚闘および 頭部内伝搬過程の計測
3 . 学会等名 日本音響学会2020年春季研究発表会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司
2.発表標題 遠位呈示骨導音の周波数に依存した知覚特性の変化
3 . 学会等名 日本音響学会2020年春季研究発表会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 上肢,体幹,頸部に呈示された骨導超音波 -体内伝搬過程における復調特性の検討-
3 . 学会等名 千葉大学グローバルプロミネント研究基幹リーディング育成研究プログラム第1回「先進的骨伝導コミュニケーション」シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 骨導超音波の両耳知覚特性と遠位呈示での頭内定位の検討
3 . 学会等名 千葉大学グローバルプロミネント研究基幹リーディング育成研究プログラム第1回「先進的骨伝導コミュニケーション」シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 荻野利基,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 遠位呈示された骨導超音波 -基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討
3 . 学会等名 千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム(第3回)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名中川誠司
2 . 発表標題 骨伝導知覚のメカニズム解明とコミュニケーション・デバイスへの応用
3.学会等名 日本音響学会聴覚研究会(招待講演)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 中川誠司
2 . 発表標題 非侵襲的手法を用いたヒト聴覚メカニズムの解明と人間福祉医工学への応用
3 . 学会等名 新化学技術推進協会ライフサイエンス技術部会脳科学分科会講演会(招待講演)
4.発表年 2020年
1 . 発表者名 Otsuka S, Furukawa S, Nakagawa S
2. 発表標題 Effects of a preceding sound on medial olivocochlear bundle reflex as a function of the preceding time interval
3.学会等名 The 23rd International Congress on Acoustics, Sep. 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Nakagawa S, Ishikawa H, Ogino R, Doi K, Otsuka S
2. 発表標題 Assessments of propagation of bone-conducted ultrasound presented to the arm using laser-Doppler vibrometry
3.学会等名 The 40th Symposium on Ultrasonic Electronics(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 中川誠司
2 . 発表標題 先進的骨伝導コミュニケーション
3 . 学会等名 千葉大学グローバルプロミネント研究基幹リーディング育成研究プログラム第1回「先進的骨伝導コミュニケーション」シンポジウム
4.発表年 2019年

1.発表者名 中山仁史,梶野彩,石光俊介,中川誠司	
2 . 発表標題 加速度差分を用いた体内伝導音の明瞭化 -単語了解度試験による特性評価-	
3.学会等名 千葉大学グローバルプロミネント研究基幹リーディング育成研究プログラム第1回「先進的骨伝導コミュニ・	ケーション」シンポジウム
4 . 発表年 2019年	
〔図書〕 計3件	
1.著者名中川誠司	4 . 発行年 2021年
2. 出版社 CHIBA RESEARCH(日本語版)	5.総ページ数 ²⁶
3 . 書名 補聴器を超える革新的骨伝導技術を生み出す	
1.著者名中川誠司	4 . 発行年 2021年
2.出版社 CHIBA RESEARCH(English version)	5 . 総ページ数 ²⁶
3.書名 Bone-conduction technology beyond hearing aid	
〔出願〕 計0件	

〔取得〕 計1件

- CHANA MILLI		
産業財産権の名称	発明者	権利者
音響伝達方式	中川誠司,大塚翔	同左
産業財産権の種類、番号	取得年	国内・外国の別
特許、7220444	2023年	国内

(そ	ው [∙]	他)

COME
千葉大学フロンティア医工学センター 中川・大塚研究室
http://www.cfme.chiba-u.jp/-nakagawa/index.html
TITTP://www.clille.clitba-u.jp/~lakagawa/fluex.fitilli
千葉大学フロンティア医工学センター 中川・大塚研究室 Facebook page
https://www.facebook.com/NakagawaLab/
TITTPS.//www.lacebook.com/nakagawaLab/
C 研究组体

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	長谷 芳樹	神戸市立工業高等専門学校・その他部局等・准教授	削除:2019年10月18日
研究分担者	(Nagatani Yoshiki)		
	(60448769)	(54502)	ļ .
	大塚 翔	千葉大学・フロンティア医工学センター・助教	
研究分担者	(Otsuka Sho)		
	(00776049)	(12501)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

[国際研究集会] 計2件

国際研究集会	開催年	
The 2nd Symposium on Advanced Bone-conduction Communications	2021年~2021年	
国際研究集会	開催年	
The 1st Symposium on Advanced Bone-conduction Communications	2019年~2019年	

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
	University of Washington			
韓国	Samsung Display. Co. Ltd.			